資料1

◎ 検討項目

- 建築構造（追加） P1
- 災害対応設備（追加） P2
- サイン計画　P3～P4
- 外装仕上げ　P5
- 内装材料　P6
- 概算事業費　P7

建築構造（追加）

【検討事項】 免震構造に係る費用について（旭中央病院の事例）

■旭中央病院

・用途：病院

・構造：鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）、免震構造

・階数：地上12階 搭屋1階

・延床面積：約55,800㎡

・建築面積：約9,600㎡

・着工：2008年12月

・工事費：約201億円（落札価格：約173億円）

■旭市新庁舎

・用途：庁舎

・構造：プレキャストPC造（一部鉄骨造）、免震構造

・階数：地上5階 地下1階

・延床面積：約14,200㎡（地下含む）

・建築面積：約4,200㎡

・着工：2019年6月(予定)

・工事費：約50億円

●免震構造に係る費用について

約9.3億（工事費全体の約4.6%）
→建築面積1㎡あたりの工事費＝「約10万円」

免震装置数　143基

約5.5億（工事費全体の約11%）
→建築面積1㎡あたりの工事費＝「約13万円」

（想定）免震装置数　55基

※新庁舎の装置数は、旭中央病院の約38%となりますが、消費税増税や工事費上昇を考慮する必要があります。

災害対応設備（追加）

（1）非常用発電機
庁舎全体の電力に対する割合：約45％
320kw（非常用発電機）/700kw（想定の庁舎全体電力量）＝45．7％

非常用発電機オイルタンク7日分⇒3日分に変更
旭市地域防災計画（備蓄目標3日分以上）
設置費用　約4，800万円（7日分）⇒約3，800万円（3日分）
コンセント、照明、エレベーター、空調、通信機器など

（2）太陽光発電
庁舎全体の電力に対する割合：約5～6％
40kw（太陽光発電）/700kw（想定の庁舎全体電力量）＝5．71％
コンセント、照明

太陽光発電40kw⇒20kwに変更
必要容量20kw（災害対策諸室用コンセント5kw、照明5kw計10kw　発電効率50％仮定）
設置費用　約3，800万円（40kw）⇒約2，000万円（20kw）

（3）蓄電設備
約2，500万円（10kw5時間分の備蓄）

（4）2回線受電方式
1回線受電方式に変更
設置費用などが削減（設置費用約700万円、電気基本料金1．05）
非常用発電機（3日分）で対応可能。

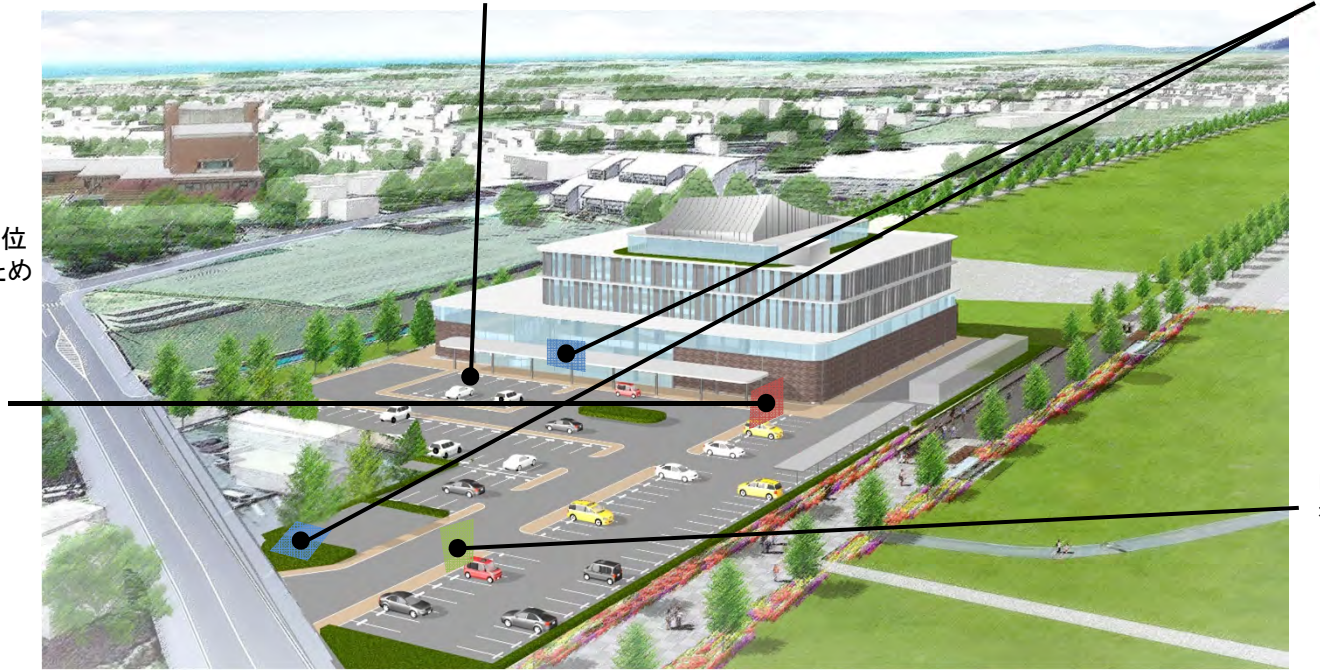
サイン計画

①外構のサイン

建物全体や現在地との位置関係を示す総合案内サイン、また、目的地への方向を指示する誘導サインなどを来庁者の動線、目線を考慮して、見やすく分かりやすい場所に設置します。

（エ）ユニバーサルデザイン
多目的駐車場や敷地内の段差、視覚障がい者用の誘導ブロックなどを計画します。

（ア）名称サイン
目的の場所を見つけるためのサインを設置します。



（ウ）案内サイン
敷地全体や現在地との位置関係をイメージするためのサインを設置します。

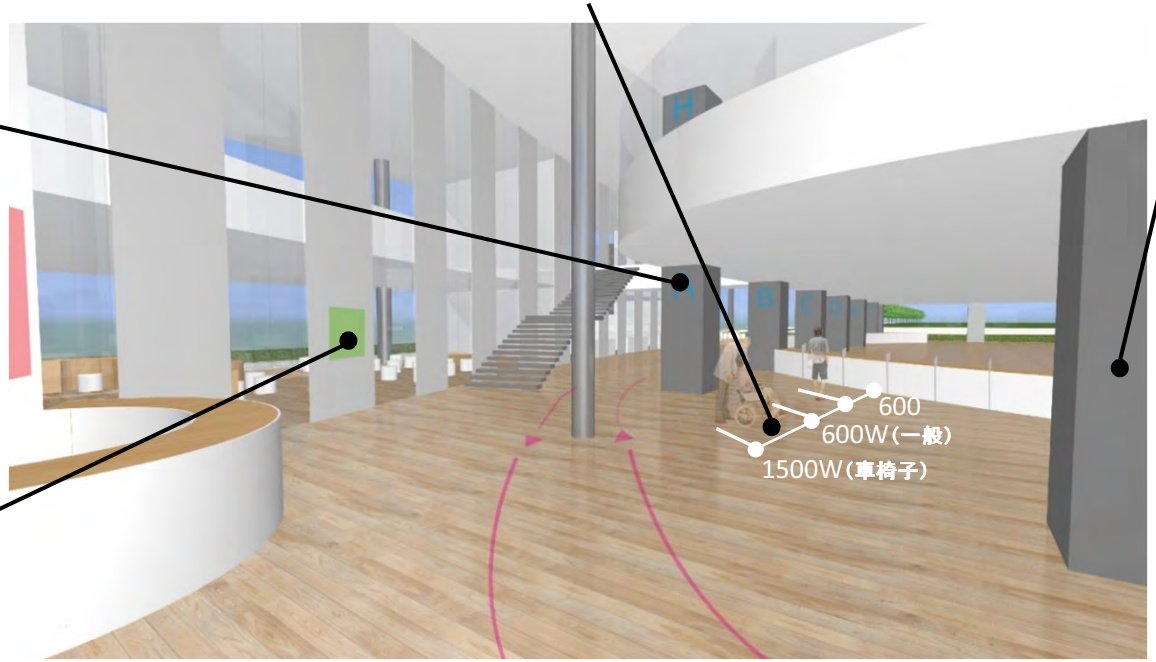
（イ）誘導サイン
目的の場所に向って移動してたもらうためのサインを設置します。

②建物内のサイン

建物全体や現在地との位置関係を示す案内サイン、また、目的地への方向を示す誘導サイン、特に、来庁者の多い窓口には、部署の名称に加えて業務内容を示す名称サインを、来庁者の動線、目線に考慮して、見やすく分かりやすい場所に設置します。

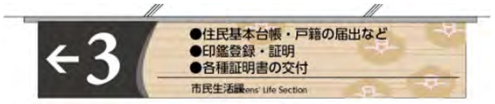
（ウ）名称サイン
部署の名称に加えて業務内容などを示すサインを設置します。

（エ）ユニバーサルデザイン
建物内の段差や視覚障がい者用の誘導ブロック、車椅子がすれ違える幅などを計画します。



（ア）案内サイン
建物全体や現在地との位置関係をイメージするためのサインを設置します。

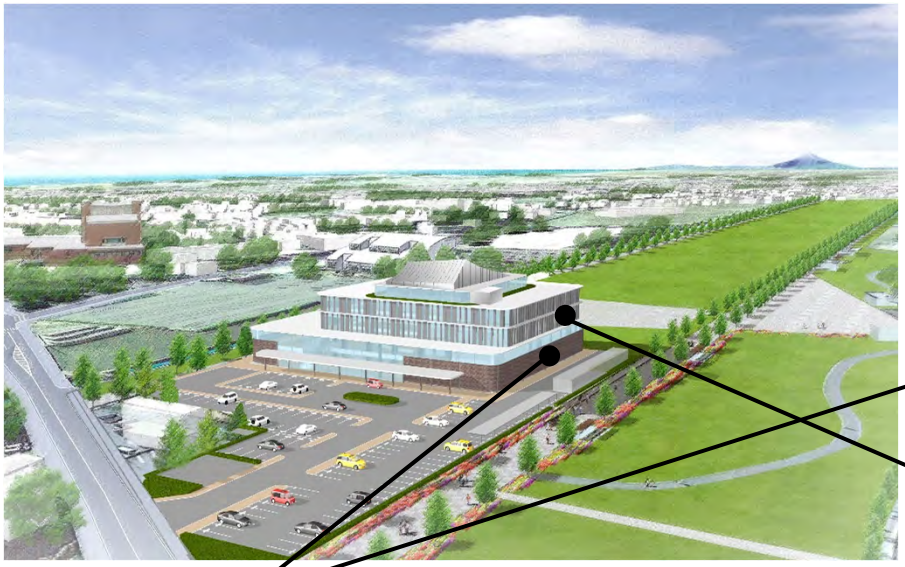
（イ）誘導サイン
目的の場所に向って移動してたもらうためのサインを設置します。



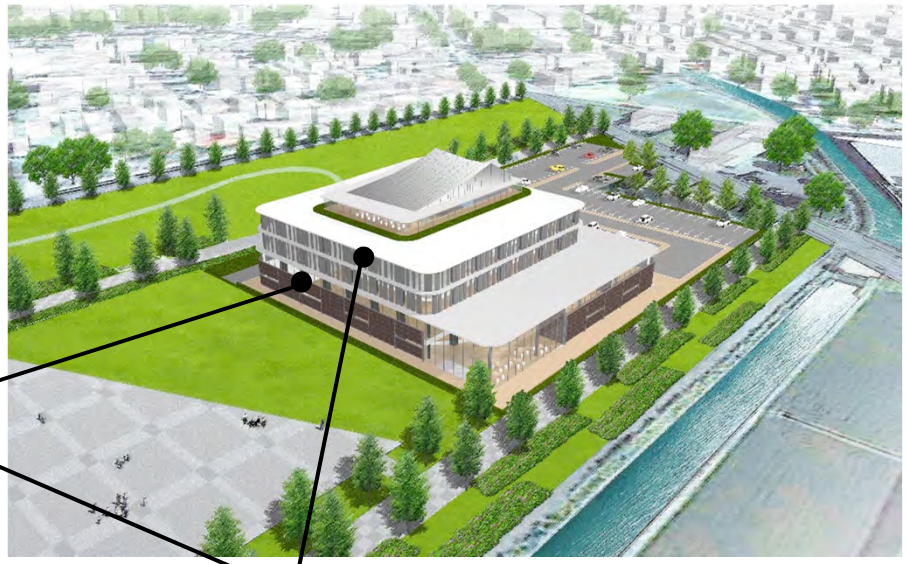
外装仕上げ

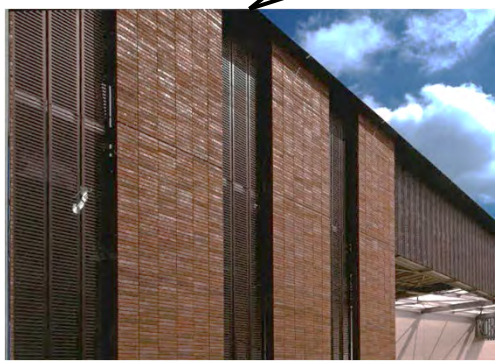
白・黒・自然色を基調とした、質素でシンプルなデザインで、周囲の景観に調和した計画とします。

【正面玄関から見た外観イメージ】



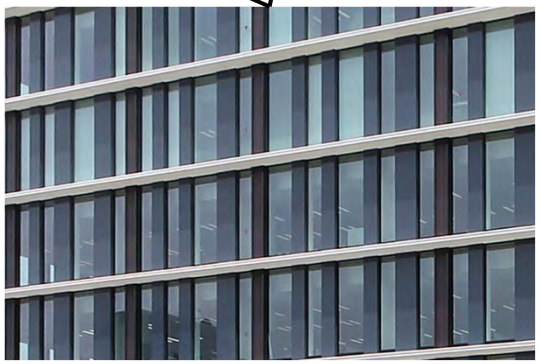
【旭文化の杜公園側から見た外観イメージ】





②低層部

ガラスが多く開放的なデザインに、土の質感を感じるタイルを組み合わせて、自然素材を生かした仕上げを計画します。



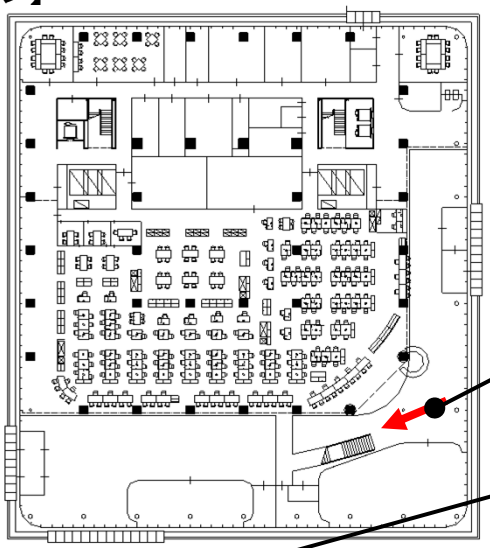
①上層部

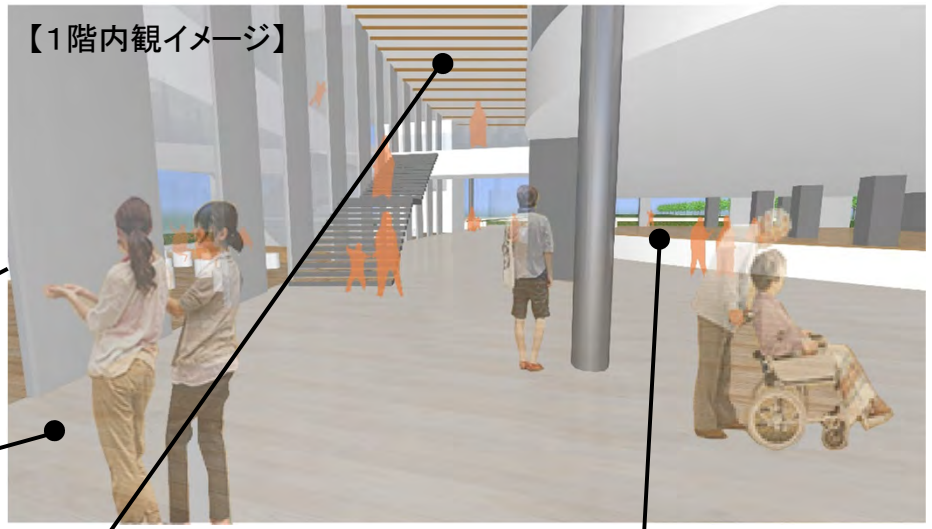
縦長の窓を採用して、メリハリのあるデザインを取り入れます。

内装材料

内装の一部に木材を使用して、深みと安らぎのある空間を計画します。また、機能性が高く清潔さを保ち、清掃しやすい材料を採用します。

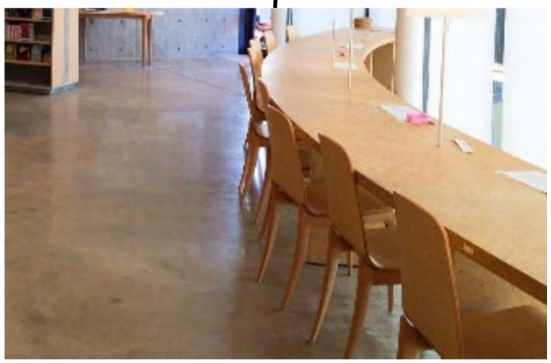
【内観イメージ】





③床

②天井



①家具

概算事業費

建設市場の動向や建築構造などにより、変動する可能性があります。

項　目	内　容	事業費
本体工事費	41万円/㎡ 地下駐車場　約2億円	約 50億円
外構工事費	2万円/㎡	約　1億6,000万円
解体工事費 （現本庁舎、第二庁舎）	3万円/㎡ アスベスト撤去費3,600万円	約　1億7,400万円
その他工事費	上水道1,300万円、排水500万円	約　　1,800万円
計		約 53億5,200万円

資料2

郷土愛からつなぐ未来　ず～っと大好きなまち旭

旭市新庁舎建設「基本設計」（素案）

※本文中の画像はイメージ図であり、今後変更する場合があります。

平成29年11月14日

旭市

目次

1. 設計方針 《P1》
（1）6つの基本方針
2. 計画概要 《P2～P14》
（1）敷地概要
（2）建築概要
（3）配置計画
（4）平面計画
（5）立面計画
（6）断面計画
（7）構造計画
3. わかりやすく使いやすい庁舎 《P15～P19》
（1）目指す姿
（2）来庁者にとって利用しやすい窓口
（3）来庁者の利用動線に沿ったサイン計画
4. 防災・安全対策 《P20～P23》
（1）旭文化の杜公園と連携した防災拠点
（2）庁舎全体で災害に向き合う計画
（3）防災計画
（4）セキュリティ計画
5. 生涯コストを抑えた施設整備 《P24～P27》
（1）長寿命庁舎を実現する建築技術
（2）環境計画
（3）電気設備計画
（4）空調換気設備計画
（5）給排水衛生設備計画
6. 新しいまちづくりの拠点 《P28～P32》
（1）市民の創造する意欲を盛り上げる場
（2）外観パース
（3）内観パース
7. 工事計画 《P33》
（1）概算事業費
（2）スケジュール

１．設計方針

（１）６つの基本方針

旭市新庁舎建設基本計画に基づいた設計を行います。

①市民に開かれた庁舎

人にやさしく、わかりやすく、利用しやすい機能と安全性に配慮するとともに、市民のふれあいの場として親しまれる庁舎

②ユニバーサルデザイン※に対応した庁舎

すべての人が、安心して快適に利用できる庁舎

③住民自治の拠点となる庁舎

議会の独立性を保ちつつ、市民と行政が連携して、活発な市民の交流を促進する庁舎

④市民の安全・安心を支える庁舎

高度な耐震性や耐水性、防火性などの災害に対応できる機能を備え、地震や風水害などの災害時における防災拠点として機能する庁舎

⑤環境にやさしい庁舎

省資源・省エネルギー対策を図るため、それに配慮した設計と設備の導入を検討し、環境負荷の低減に配慮した庁舎

⑥行政需要の変化に対応できる庁舎

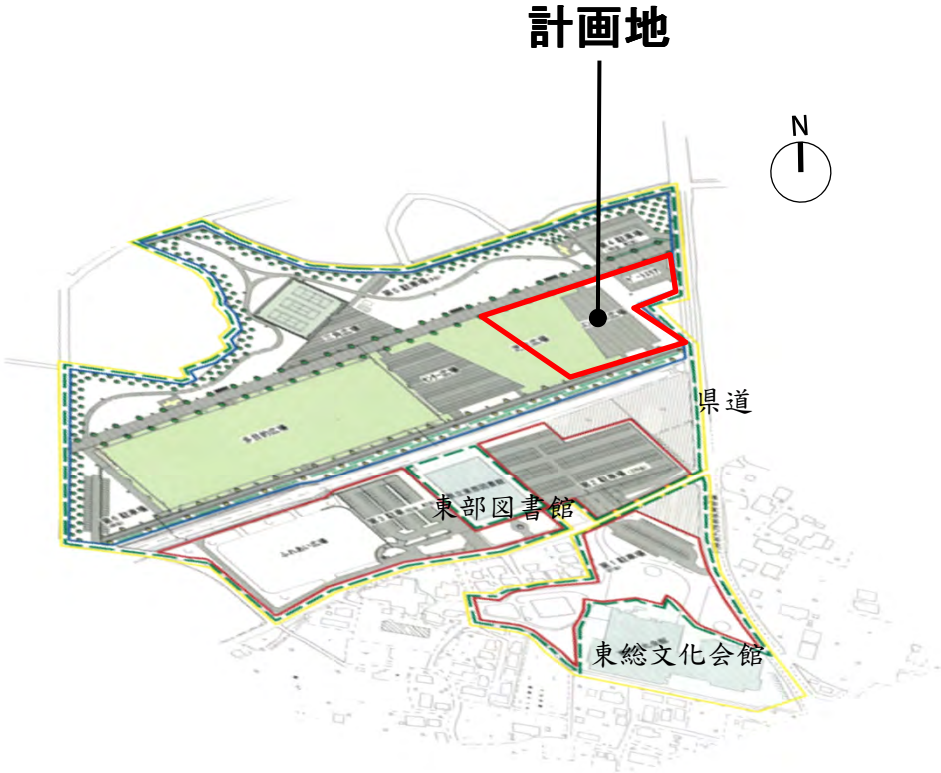
高度情報化や市民ニーズの多様化とともに、行政組織の変化などに対応できる機能的で柔軟性の高い庁舎

※　ユニバーサルデザイン＝障がいの有無や年齢などに関わらず、すべての人に使いやすいようにつくられたもの。

2.　計画概要

（1）敷地概要

・建設地　　：旭市ニの2132番地
・敷地面積　　：9,864㎡
・許容建蔽率　：60%
・許容容積率　：200%
・地域地区　　：都市計画区域
　　用途地域無指定
・防火指定　　：無（22条地域）※
・日影規制　　：無指定
・前面道路　　：主要地方道
　　旭停車場線12m



※　22条地域＝建築基準法第22条の規定により、建築物の屋根は不燃材などを使わなければならない。

（2）建築概要

・主要用途　：庁舎
・工事種別　：新築
・建築種別　：免震構造
・構造種別　：プレキャストPC造※1
　　（一部鉄骨造）
・建築面積　：約4,200㎡
・延床面積　：約11,700㎡（地下除く）
・容積率　　：約120％
・階数　　：地上5階、地下１階
　　（5階は展望室、機械室）
・最高高さ　：約24m
・基礎種別　：杭基礎※2
・昇降機　　：エレベーター3台
・駐車台数　：192台　（来庁者用118台、公用車用74台）
・駐輪台数　：35台

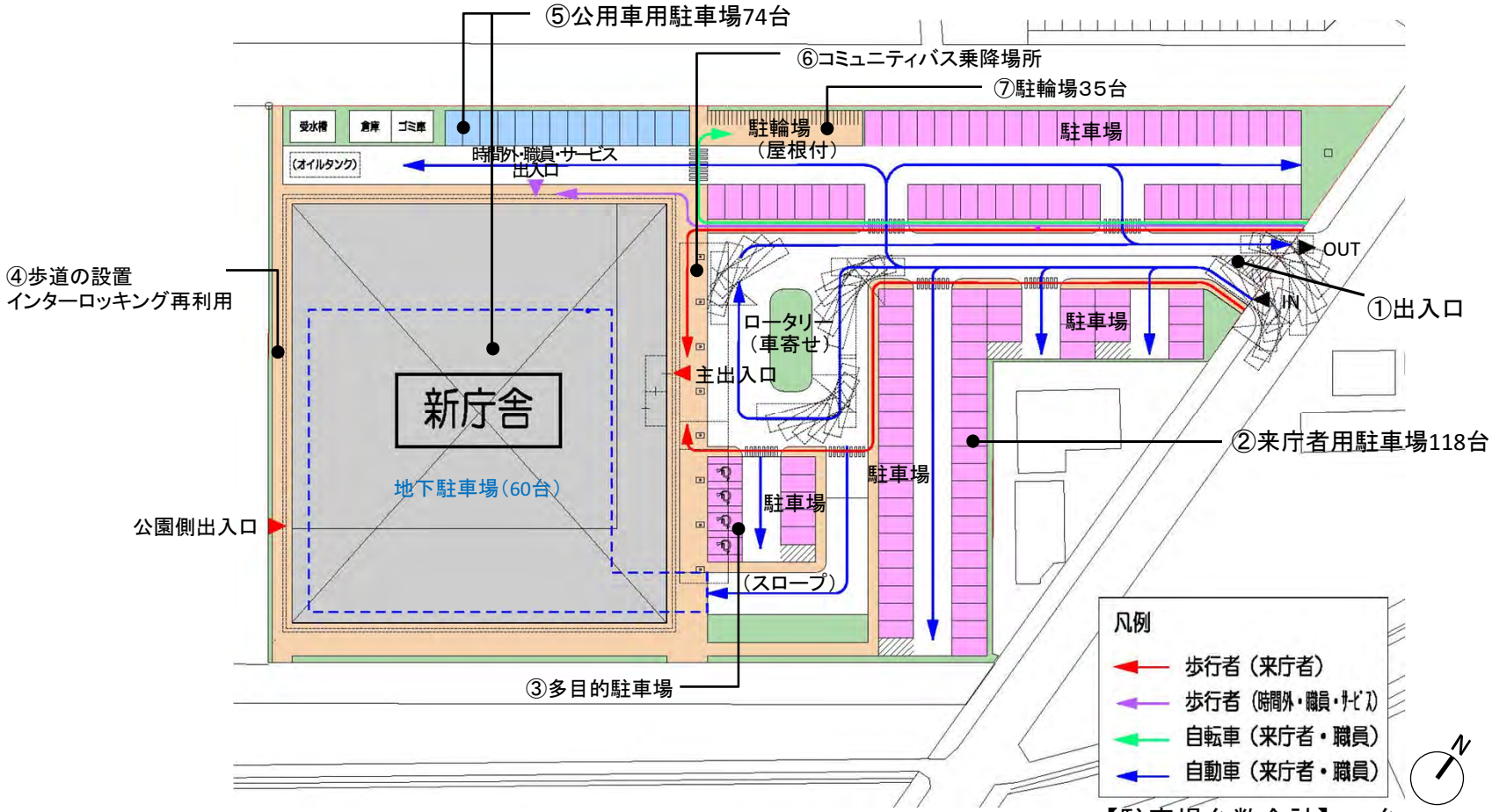
面積表

階	床面積（㎡）	備考
5	約800	
4	約2，200	
3	約2，200	
2	約2，800	
1	約3，700	車寄庇を除く
地上階計	約11，700	
地下	約2，500	
合計	約14，200	

※1　プレキャストPC造＝プレキャストプレストレストコンクリート造。工場で製造された鉄筋コンクリート製の部材による構造。
※2　地盤調査の結果により、決定する。

（3）配置計画

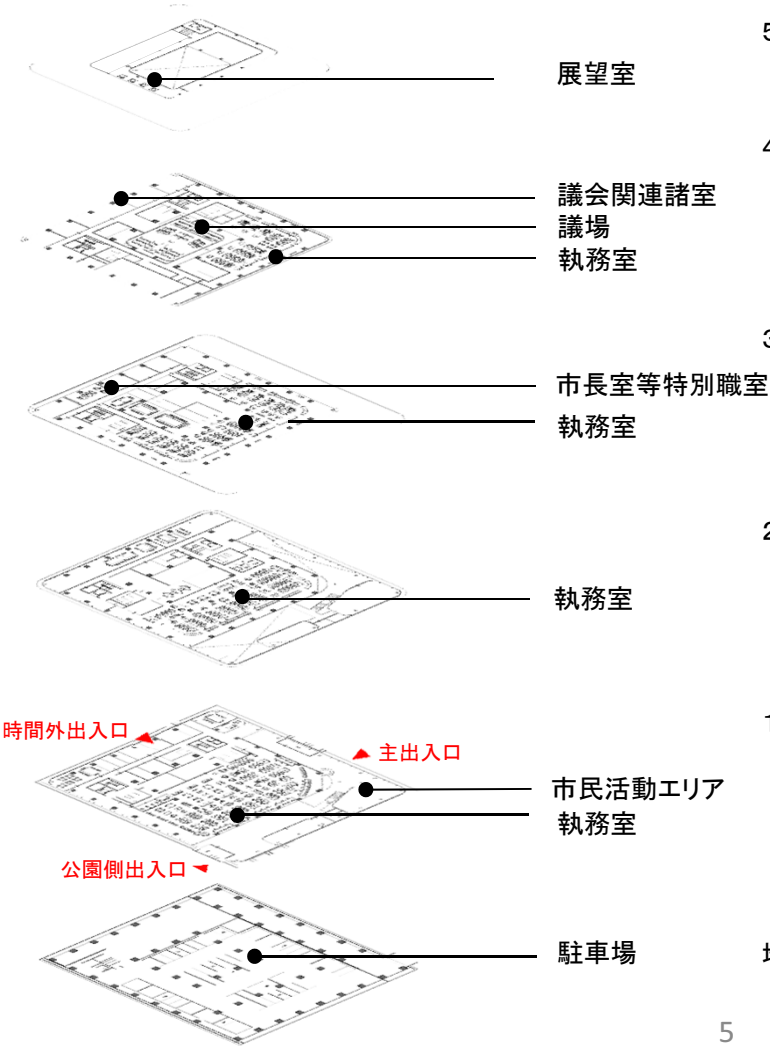
新庁舎は、進入口から見て、わかりやすく、認識しやすい配置構成とし、
旭文化の杜公園との連携に配慮した計画とします。



【駐車場台数合計】192台
（平置132台、地下約60台）

（4）平面計画

全方位に開かれた開放的な低層階と、機能を集約したコンパクトな上層階で構成される計画とします。



5階　市民憩いの場（展望室）、機械室

4階　正副議長室、議場、議員控室、委員会室、議会図書室、議会事務局、
教育委員会（教育長室、庶務課、学校教育課、体育振興課、生涯学習課）
カウンセリングルーム、WC、教育情報室、会議室、給湯室、更衣室、
機械室

3階　市長室、副市長室、市長応接室、秘書広報課、総務課、企画政策課、
財政課、行政改革推進課、農水産課、農業委員会事務局、WC、
政策決定室、防災無線室、サーバールーム、会議室、給湯室、更衣室、
物品庫、機械室

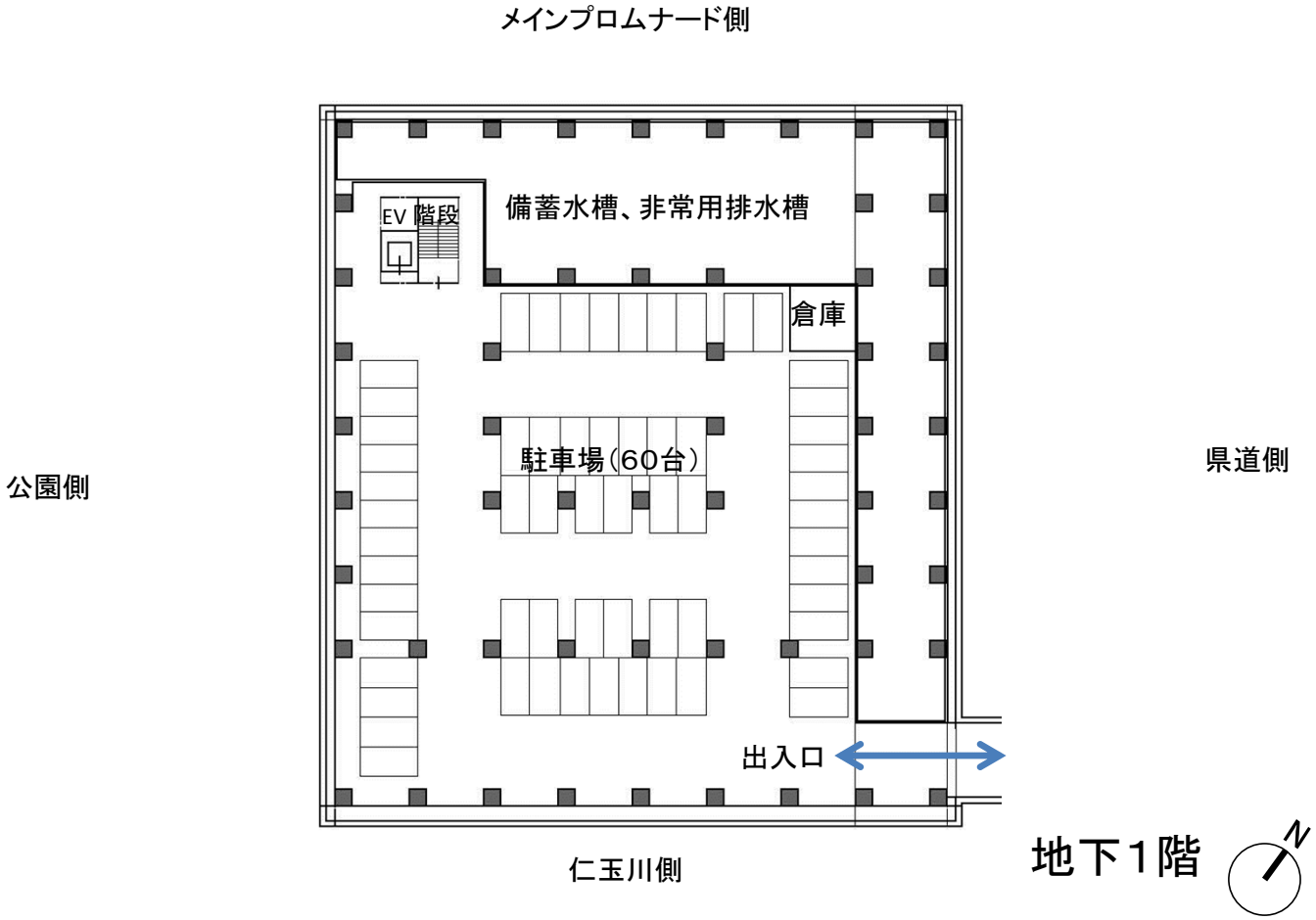
2階　子育て支援課、健康管理課、都市整備課、建設課、環境課、商工観光課、
監査委員事務局、子育て支援センターハニカム、多目的ルーム、
消費生活センター、フレンドあさひ、待合席、相談室、授乳室、WC、製図室、
会議室、給湯室、更衣室、書庫、物品庫、機械室

1階　市民生活課、税務課、会計課、保険年金課、高齢者福祉課、社会福祉課、
金融機関窓口、市民活動の場、旭の歴史等を学ぶ場、市民憩いの場、
待合席、総合案内、相談室、授乳室、WC、警備員室、作業員控室、
電話交換室、清掃員控室、印刷室・ラインプリンター室、会議室、給湯室、
更衣室、書庫、物品庫、機械室

地下　駐車場、備蓄水槽、非常用排水槽、倉庫

①地下１階

駐車場（60台）や備蓄水槽、非常用排水槽などを設置します。



②1階フロア

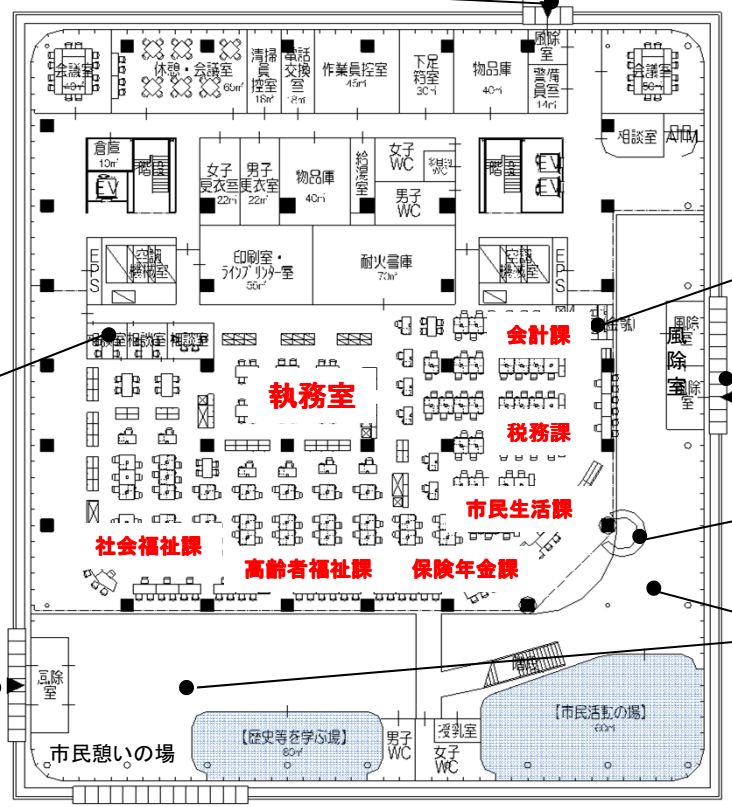
市民の利用の多い部署や業務の連携度合を考慮して、市民生活課をはじめ、税務課や会計課、保険年金課を配置します。また、今後の高齢化に伴い、高齢者福祉課と社会福祉課を配置します。

（キ）時間外出入口
メインプロムナード側に、警備員室を配置して、夜間・休日の出入口とします。

メインプロムナード側

公園側

県道側



（ア）金融機関窓口
会計課に隣接して、来庁者が市税などを納付するための窓口を配置します。

（イ）主出入口
駐車場やバス乗降場所からのアクセス性に配慮して、県道側に配置します。

（ウ）総合案内
正面玄関から見やすい場所に配置します。

（エ）待合席
最も来庁者の多い市民生活課や税務課の待合席は、主出入口から近い場所に配置します。

（カ）相談室
プライバシーに配慮して個室を配置します。

（オ）公園側出入口
公園利用を踏まえて配置します。

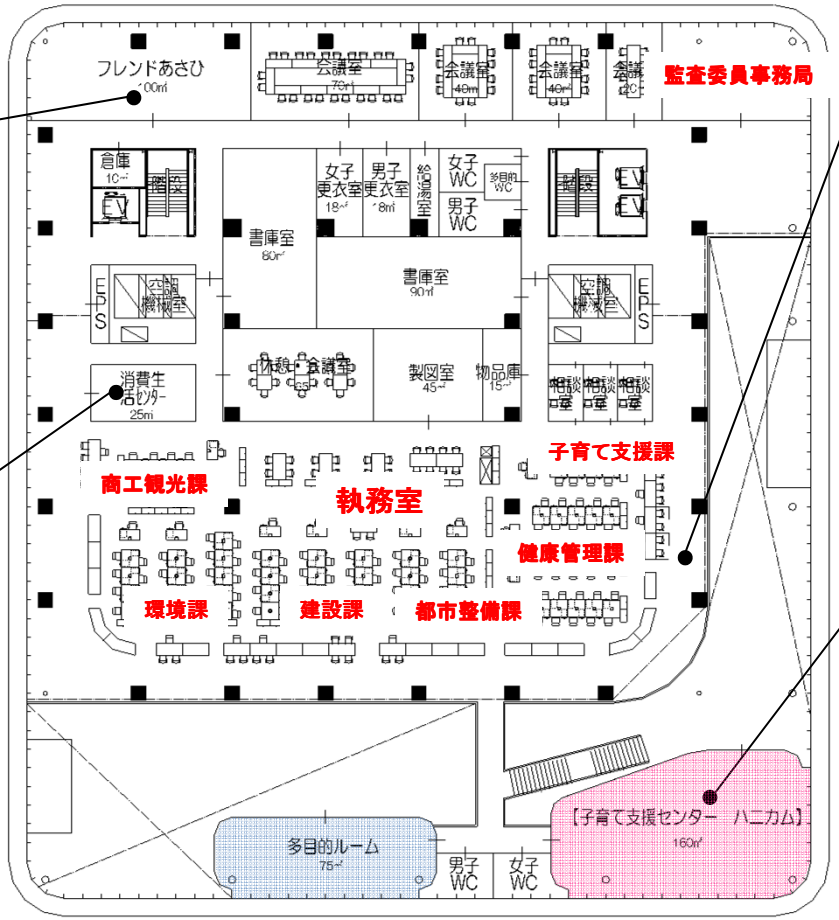
仁玉川側

1階

③2階フロア

市民の利用度と業務の連携度合を考慮して、子育て支援課と健康管理課を配置して、その隣に都市整備課と建設課、環境課を配置します。また、商工観光課と消費生活センターを配置して、メインプロムナード側に、監査委員事務局を配置します。

メインプロムナード側



公園側

県道側

仁玉川側

2階

N

(エ)フレンドあさひ
相談及び指導を行う適応指導教室を配置します。

(ア)待合席
子ども連れの多い子育て支援課や健康管理課に近接して配置します。

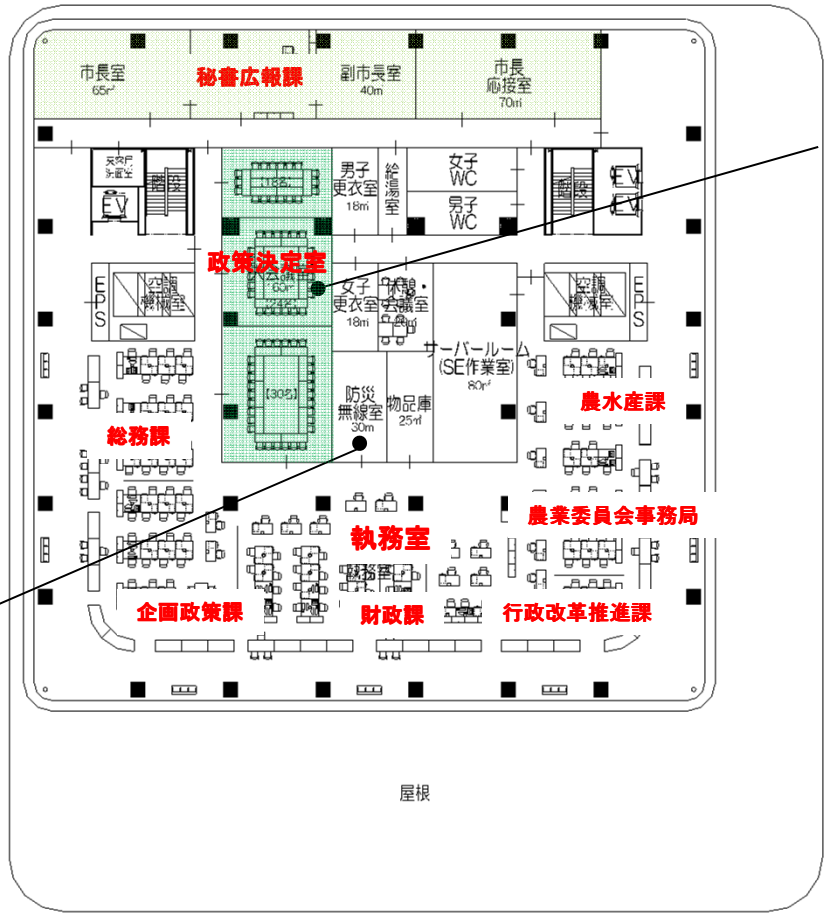
(ウ)消費生活センター
プライバシーに配慮して個室を配置します。

(イ)子育て支援センターハニカム
市内に住んでいる3歳以下のお子さんとその保護者がつどい、一緒に遊んだり情報を交換する広場を配置します。

④3階フロア

市長室・副市長室をはじめ、秘書広報課や総務課、企画政策課、財政課、行政改革推進課を配置し、業務の連携度合を考慮して、農水産課と農業委員会事務局を配置します。

メインプロムナード側



公園側

県道側

仁玉川側

(ア)政策決定室
平常時は、会議室などに利用し、災害時は、災害対策室として機能転換するなど、可動間仕切りを設けて、必要に応じた利用に配慮します。

(イ)防災無線室
政策決定室に近接して配置します。

3階

⑤4階フロア

議会関連諸室と教育委員会を配置します。議会関連諸室は、議会の独立性を保つため、議会機能と行政機能を区分して配置します。教育委員会は、教育長室をはじめ、庶務課や学校教育課、体育振興課、生涯学習課を配置します。

メインプロムナード側

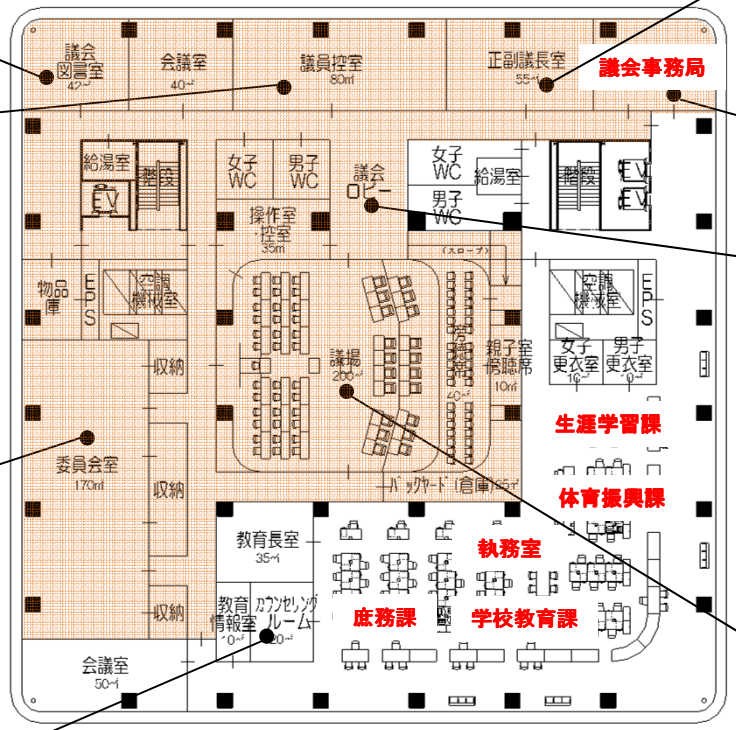
（ク）議会図書室
図書・情報コーナーを配置します。

（キ）議員控室
議会活動のための調査・研究などの場として、また、将来の会派室など、必要に応じた利用に配慮します。

公園側

（カ）委員会室
可動間仕切りを設けて、必要に応じた利用に配慮します。

（オ）カウンセリングルーム
主に、市内の小学生や家族を対象とした教育相談室を配置します。



（ア）正副議長室
議会事務局に隣接して配置します。

（イ）議会事務局
傍聴者などの利用に配慮して、エレベーター、階段の近くに配置します。

（ウ）議会ロビー
傍聴者などの待合・休憩スペースとして、配置します。

県道側

（エ）議場
登壇席と正対して、質問席を配置します。また、傍聴のしやすさに配慮して、議席と傍聴席の高低差は、可能な限り小さくし、車椅子対応や親子席を配置します。

仁玉川側

4階

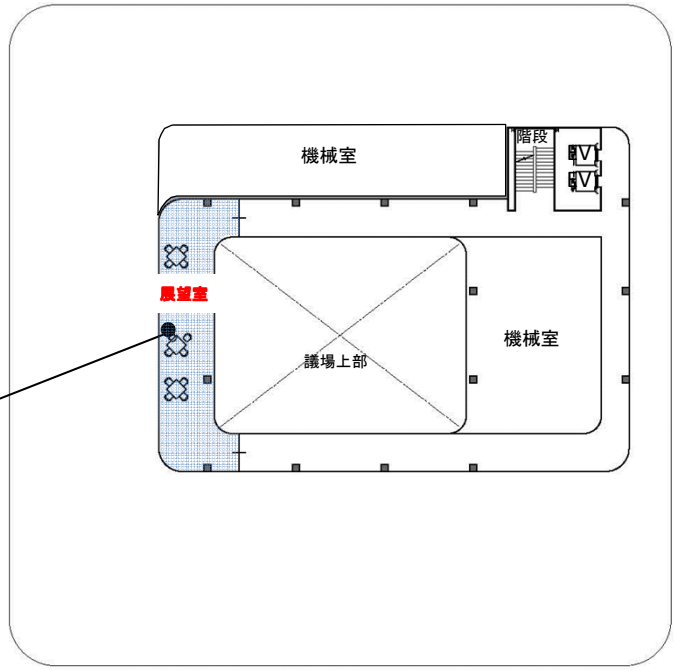
⑥5階フロア

議場の一部吹き抜けを利用して、回廊的な展望室を配置します。また、機械室を配置します。

メインプロムナード側

公園側

（ア）市民憩いの場（展望室）
軽食ができる場を配置します。



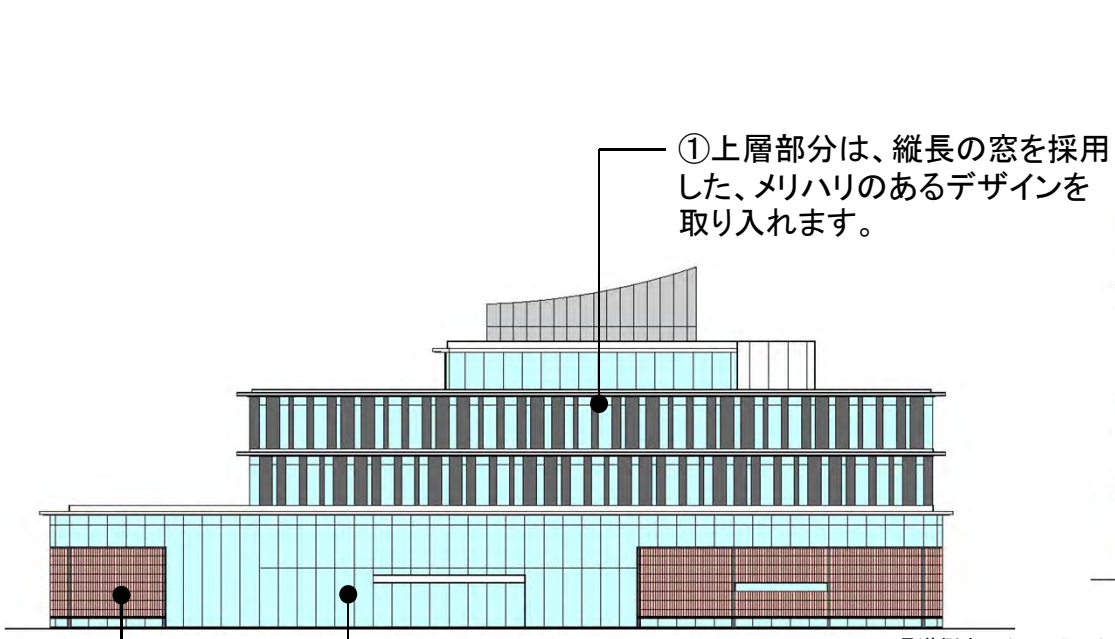
県道側

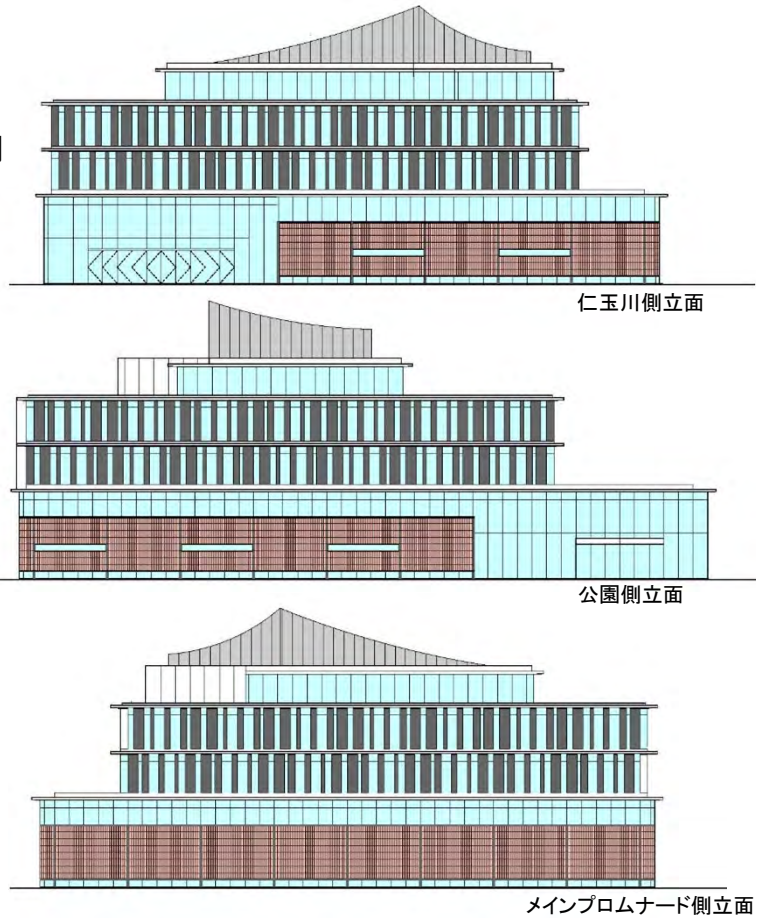
5階

仁玉川側

（5）立面計画

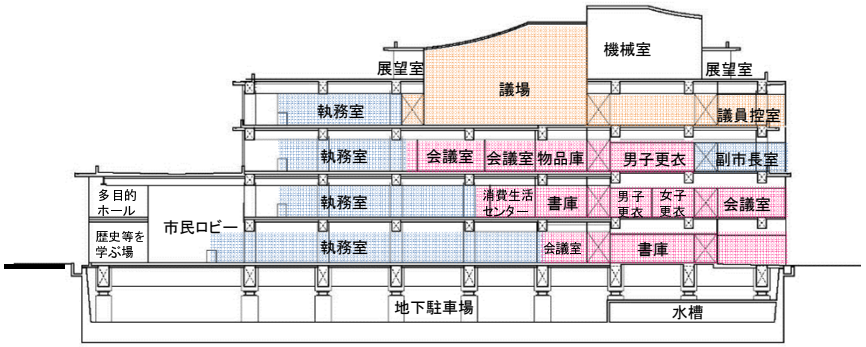
色彩の使い分けや壁面の区切りにより、周囲に圧迫感を与えないようなデザインとし、白・黒・自然色を基調とした、旭の景観に調和した計画とします。



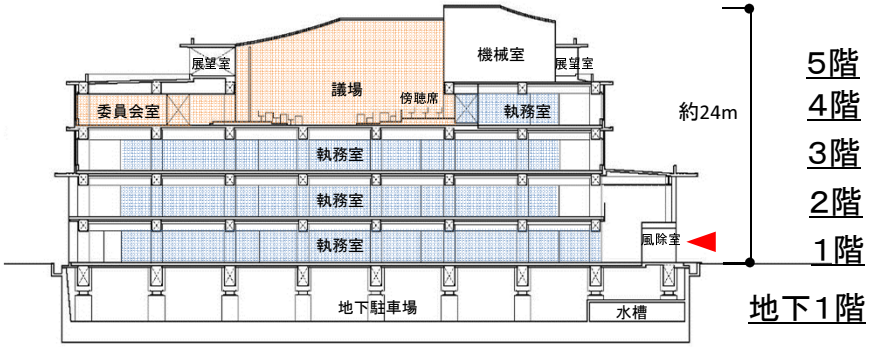


（6）断面計画

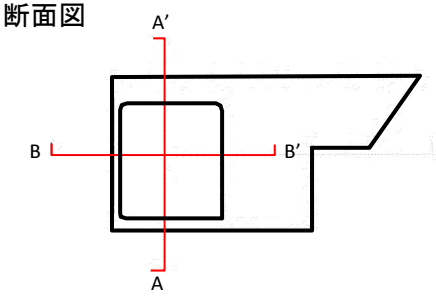
十分な空間を効率的かつ合理的に確保して、将来の機能更新や改修のしやすさに配慮した計画とします。



A（仁玉川側） ― A′（メインプロムナード側）断面図

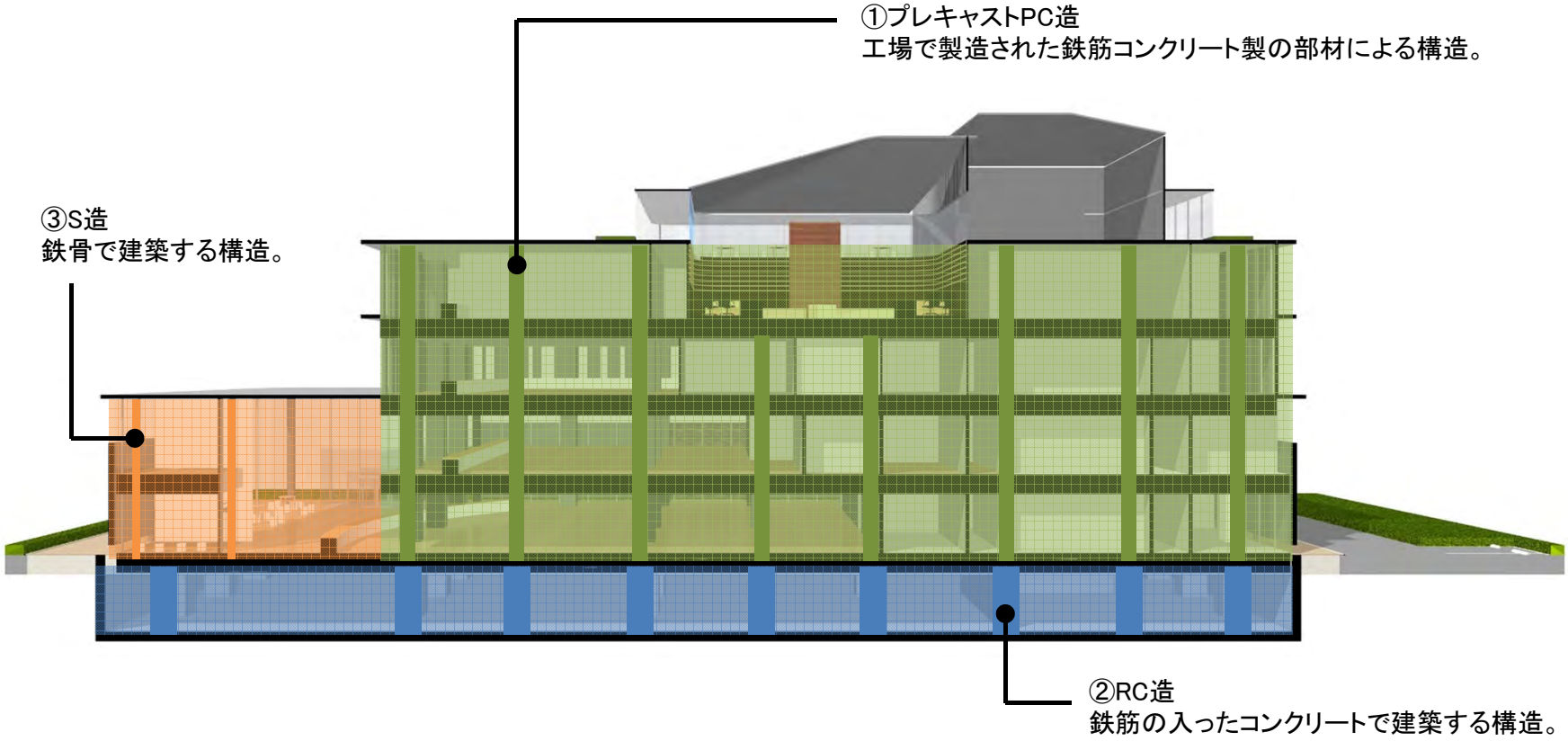


B（公園側）― B′（県道側）断面図



（7）構造計画

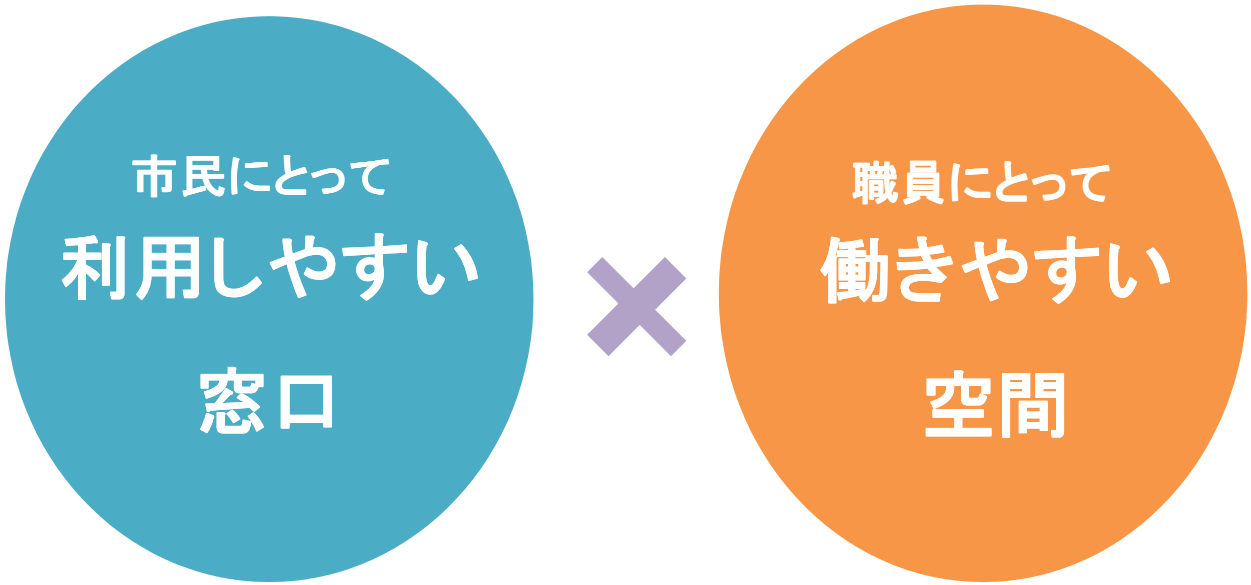
高度な耐震性や耐久性、防火性を備えるとともに、行政機能も維持できる、
災害に強い合理的な構造体による安心・安全な庁舎を計画します。



３．　わかりやすく使いやすい庁舎

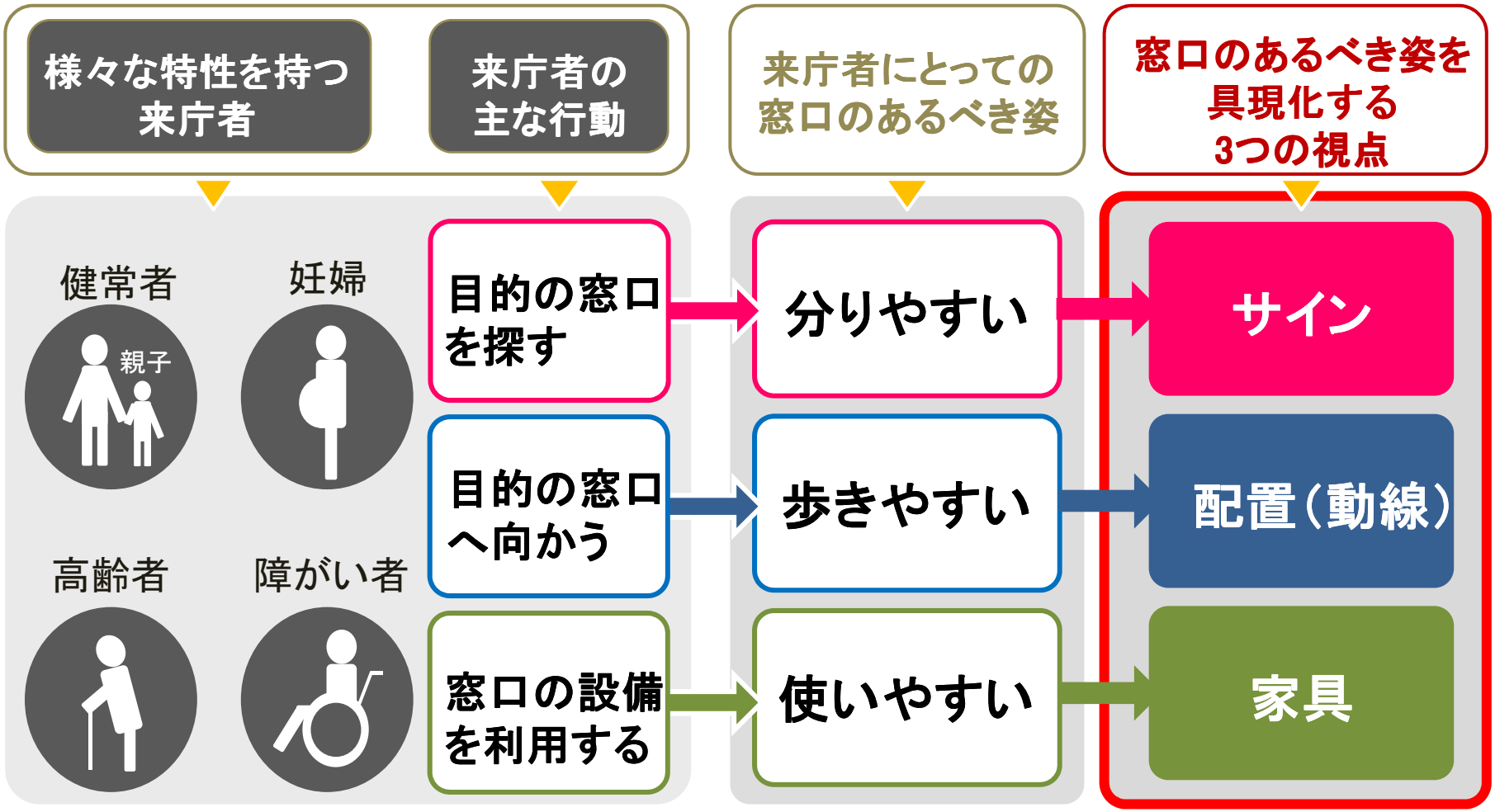
（１）目指す姿

市民にとって利用しやすい窓口、職員にとって働きやすい空間、利用する市民とそこで働く職員の双方にとって、機能的で快適、安全・安心な環境をつくり、より一層の市民サービスの向上と事務効率の向上につなげます。



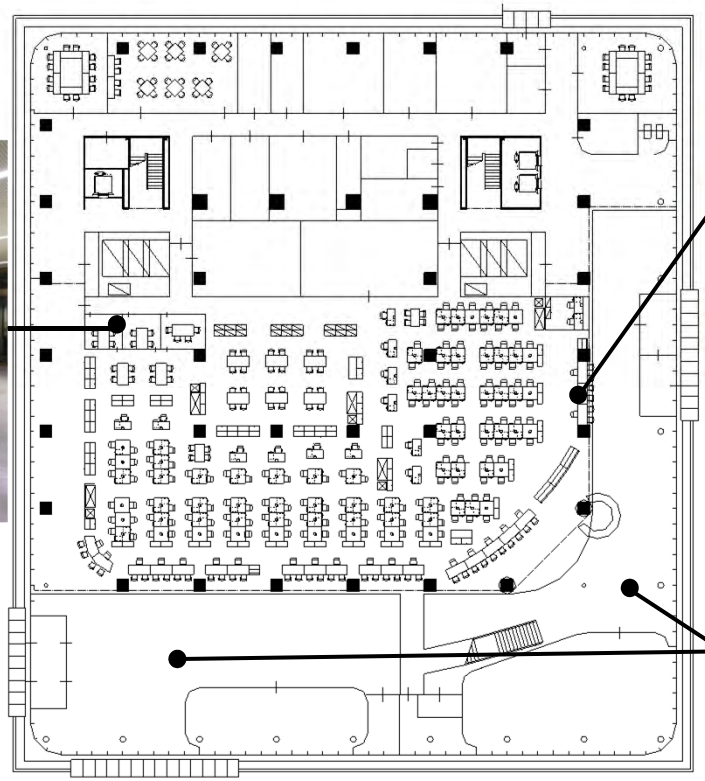
（2）来庁者にとって利用しやすい窓口

①ユニバーサルデザインに配慮した窓口空間を構築します。



②来庁者の安全・安心を確保するため、プライバシーに配慮します。

●相談室は、会話が外部に漏れないように、個室を配置します。



●窓口カウンターは、隣り合う来庁者の顔や手元が隠れるように、仕切りパネルを設置します。

●待合席は、窓口での会話を聞かれないように、窓口カウンターと正対させないで配置します。

（3）来庁者の利用動線に沿ったサイン計画

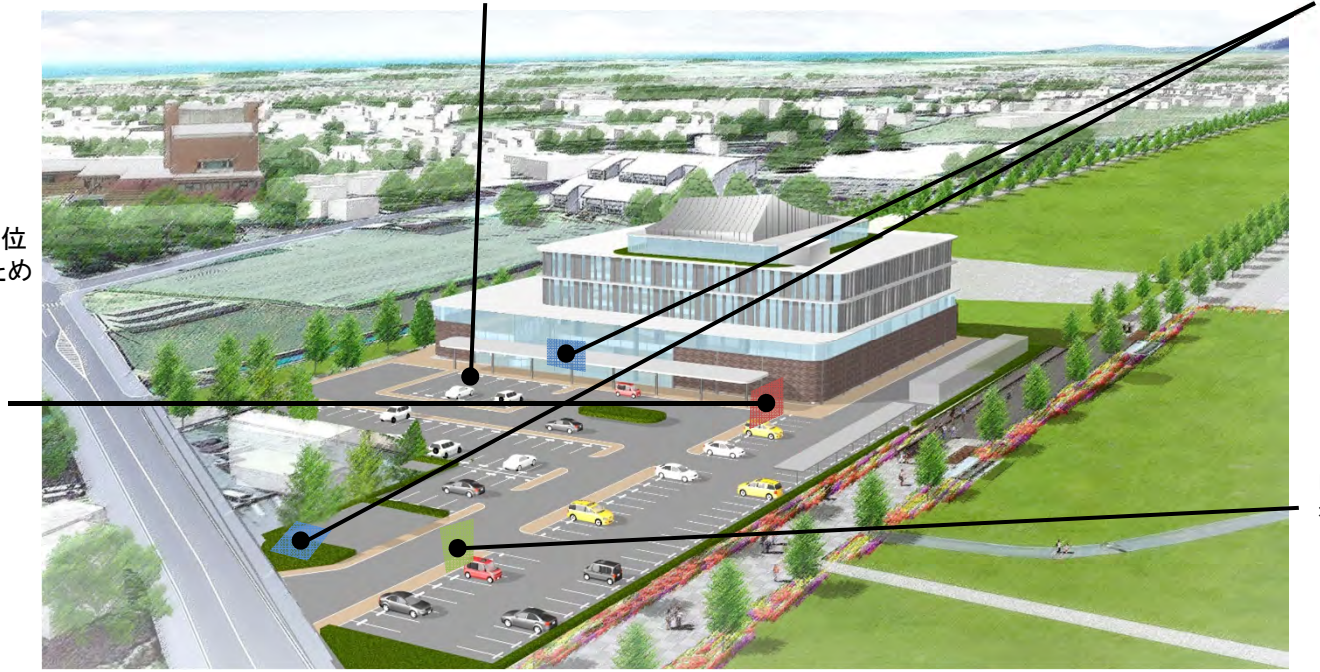
①外構のサイン

目的の場所を示す名称サインや目的地への方向を示す誘導サイン、また、敷地全体や現在地との位置関係を示す案内サインなどを、来庁者の動線、目線に考慮して、見やすく分かりやすい場所に設置します。

（エ）ユニバーサルデザイン
多目的駐車場や敷地内の段差、視覚障がい者用の誘導ブロックなどを計画します。

（ア）名称サイン
目的の場所を見つけるためのサインを設置します。

（ウ）案内サイン
敷地全体や現在地との位置関係をイメージするためのサインを設置します。



（イ）誘導サイン
目的の場所に向って移動してたもらうためのサインを設置します。

②建物内のサイン

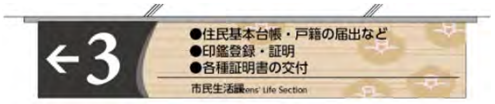
建物全体や現在地との位置関係を示す案内サイン、また、目的地への方向を示す誘導サイン、特に、来庁者の多い窓口には、部署の名称に加えて業務内容を示す名称サインを、来庁者の動線、目線に考慮して、見やすく分かりやすい場所に設置します。

（エ）ユニバーサルデザイン
建物内の段差や視覚障がい者用の誘導ブロック、車椅子がすれ違える幅などを計画します。

（ウ）名称サイン
部署の名称に加えて業務内容などを示すサインを設置します。

（ア）案内サイン
建物全体や現在地との位置関係をイメージするためのサインを設置します。

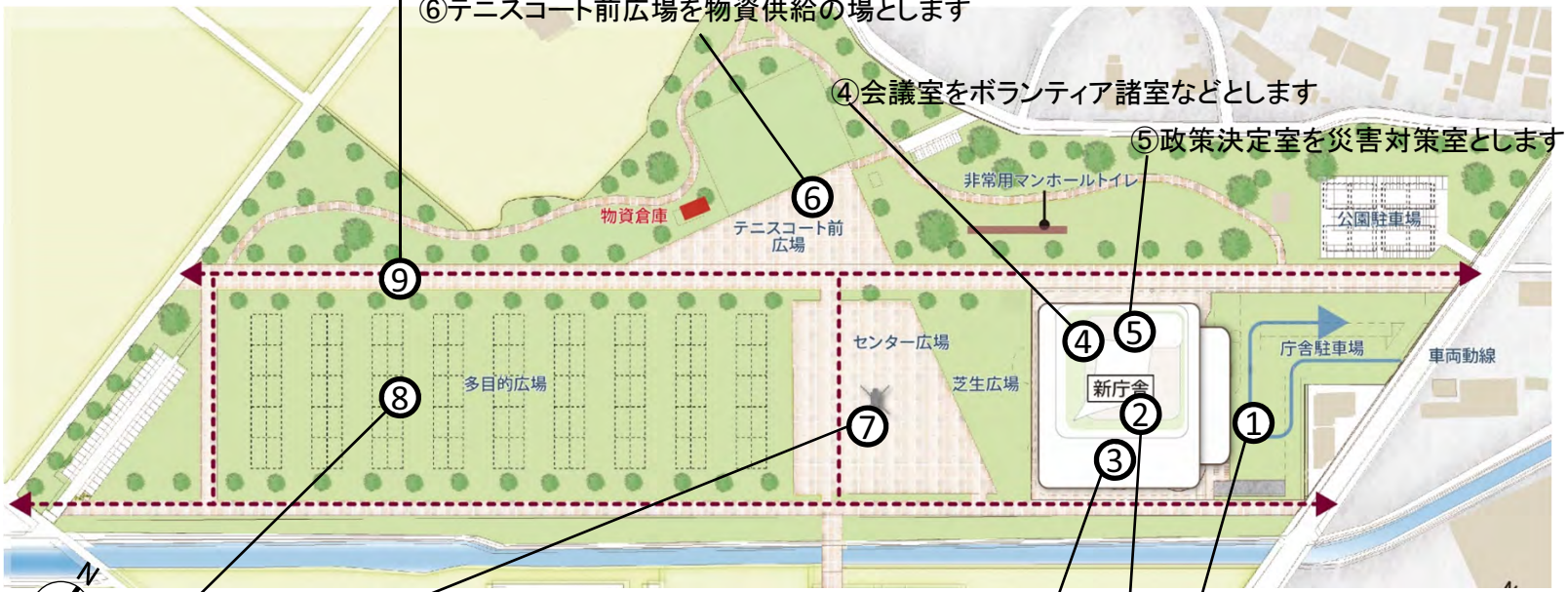
（イ）誘導サイン
目的の場所に向って移動してたもらうためのサインを設置します。



4.　防災・安全対策

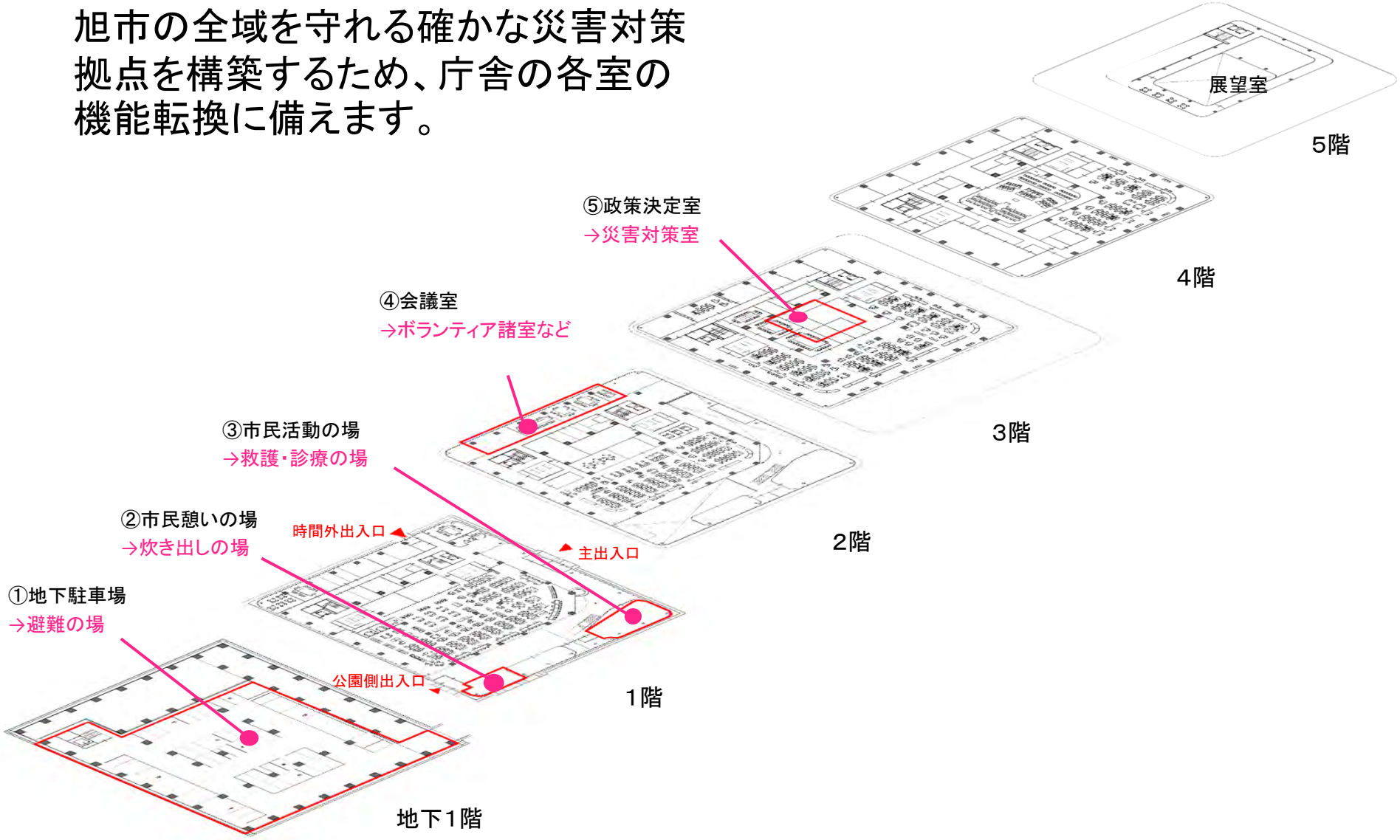
（1）旭文化の杜公園と連携した防災拠点

防災拠点として、災害時は、来庁者用駐車場を避難・救護の場として、また、
新庁舎の市民活動エリアなどを救護・診療の場などとして機能転換します。



（2）庁舎全体で災害に向き合う計画

旭市の全域を守れる確かな災害対策
拠点を構築するため、庁舎の各室の
機能転換に備えます。



（3）防災計画

大地震発生後も損傷することなく、行政機能を維持できる安全な庁舎を計画します。

①非常用発電機設備

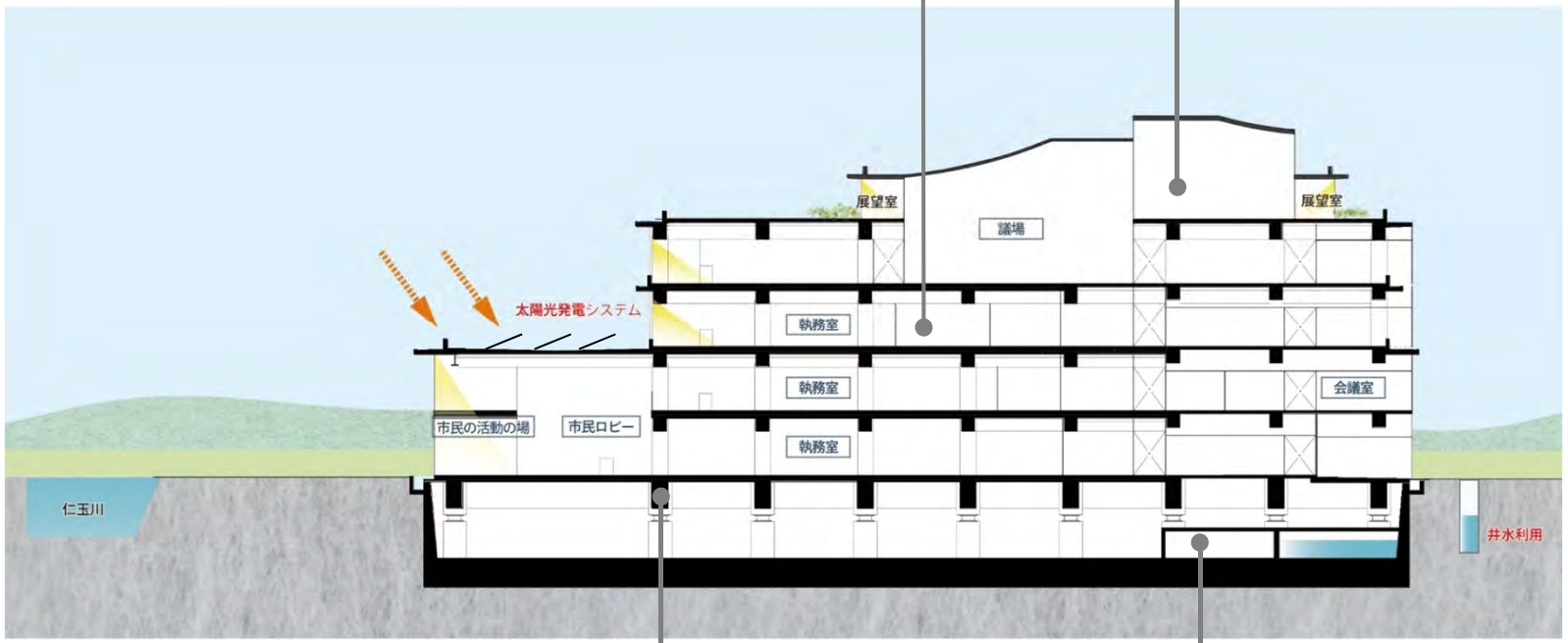
防災設備用の非常用電源や機能維持に最低限必要な重要（保安）電源を確保します。

②電気と中圧ガスを併用するハイブリット方式

災害時に電気・ガスの供給ラインのいずれかが途絶えた場合でも、熱源を確保します。

⑤無停電電源設備

瞬間的な停電に対応する設備を設置します。（サーバールーム）



④免震構造

機器・備品の転倒破損を防止し、業務継続を可能とします。

③非常用排水槽

公共下水道の破損時、一時的に雑排水・汚水を貯留し、庁舎のトイレなどの使用を可能とします。

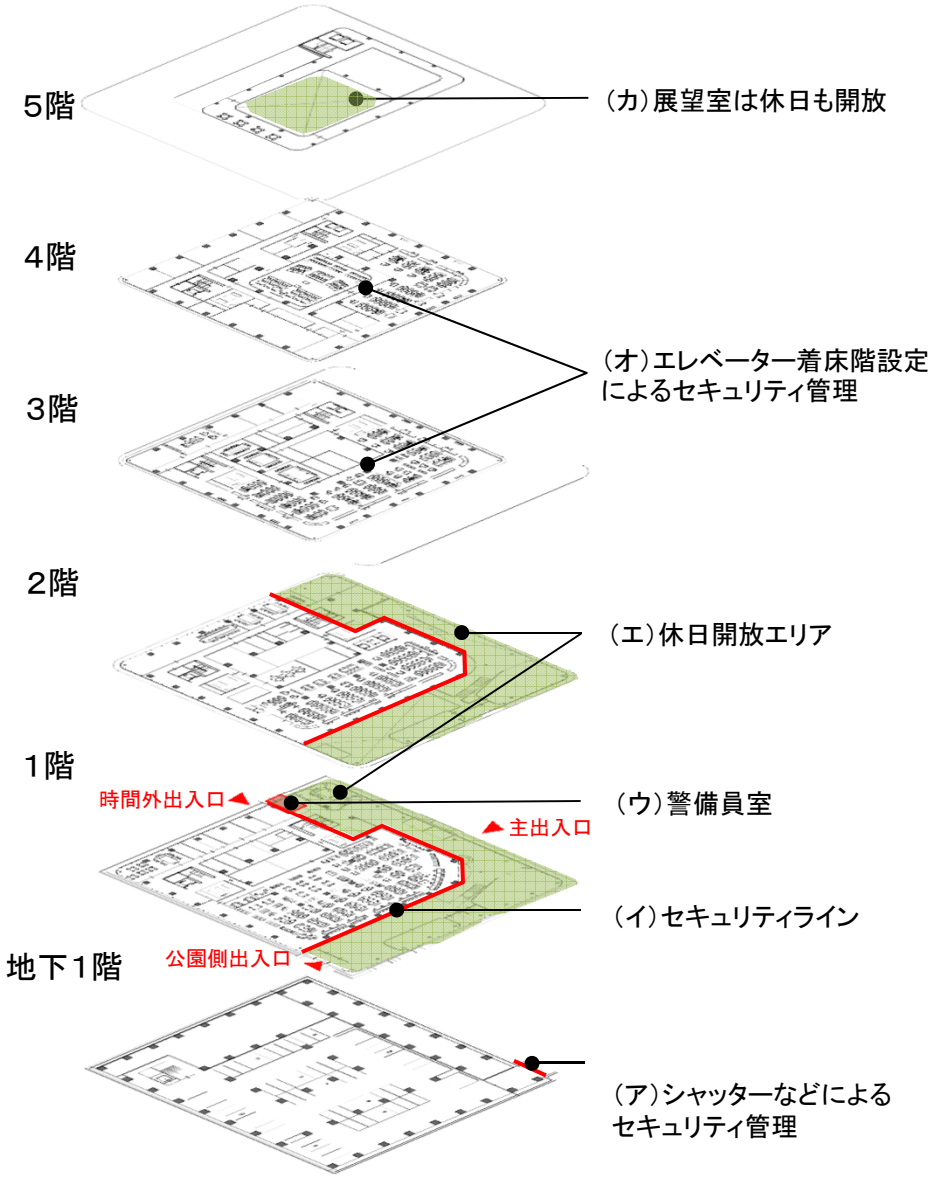
（4）セキュリティ計画

①セキュリティライン

個人情報の保護と防犯対策のため、市民活動エリアの利用に配慮して設定します。また、閉庁時間中の執務室内への立ち入りを、シャッターなどで区画し、関係者以外の立ち入りを制限します。

②警備員室

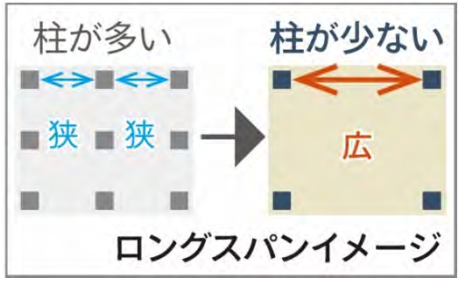
セキュリティの強化とともに、時間外（休日・夜間）の届出などに対応するために配置します。

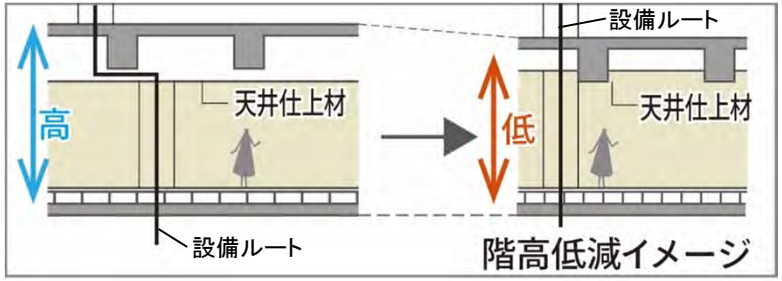


5.　生涯コストを抑えた施設整備

（1）長寿命庁舎を実現する建築技術

①コストバランスを考慮した合理的な構造計画
（ア）柱間を長くとれる構造とすることで、免震装置などの数を減らします。
（イ）設備ルートの合理化を図ることで階高を抑え、建物全体の高さを低くします。





②塩害対策
（ア）各設備は極力屋内に設け、屋外に設置する室外機などは、耐塩仕様を採用します。
（イ）屋外に面する建具類は、アルミ製を採用します。

③メンテナンスのしやすい庁舎
（ア）各階にメンテナンスバルコニーを設け、日常的な窓・外壁清掃をしやすくします。
（イ）配管・配線などの設備スペースは、ゆとりをもたせ、将来の設備増設や機器更新を行いやすくします。
（ウ）ガラスに光触媒（汚れにくい）塗料を施し、清掃回数を減らします。

（2）環境計画

自然の力を効率良く取り入れるとともに、環境に配慮した電気・空調換気設備などを効果的に採用し、生涯コストの削減と環境負荷の少ない庁舎を計画します。

⑥自然通風

東南風を利用した換気を計画します。

⑦庇（ひさし）

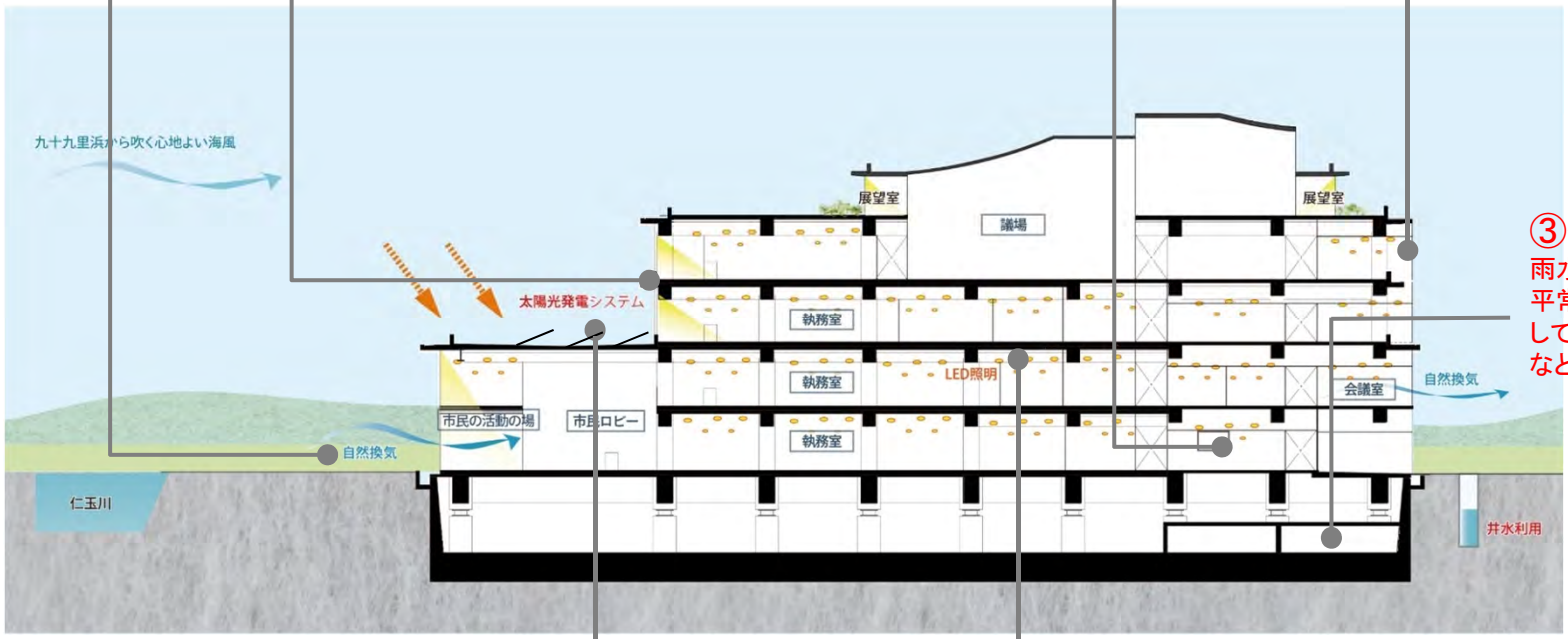
館内への直接的な日差しの緩和を図ります。

①エコモニター

電力使用量の見える化による省エネ意識の向上を図ります。

②外壁の熱負荷低減

縦長の窓や複層ガラスの採用により熱負荷低減を図ります。



③備蓄水槽

雨水・井水を溜め、平常時は雑用水としてトイレの洗浄水などに利用します。

⑤太陽光発電設備

省エネと環境負荷の低減を図るとともに、停電しても補助電力として確保します。

④全館LED照明

長寿命で消費電力の少ないLED照明を全館に採用します。

（3）電気設備計画

省エネルギーを実現し、快適な電気設備を計画します。

①電力引込設備

敷地境界より、地中埋設配管にて電力引込幹線を機械室まで引き込みます。

②受変電設備

機械室に受変電設備を設置し、高圧電力を低圧電力に降圧し、建物内に供給します。

③非常用発電機設備

地下オイルタンク（燃料備蓄量3日分）を設置します。

④太陽光発電設備

発電設備（20kw）を設置します。

⑤電灯設備

LED器具を採用します。

⑥コンセント設備

用途、機器の配置に合わせて、適切に配置します。

⑦幹線、動力設備

幹線は、ケーブルラックにて構築し、環境に配慮したエコケーブルを採用します。

⑧無停電電源設備

瞬間的な停電に対応する設備をサーバールームに設置します。
（機器費用、システム配線などの工事は除く）

⑨情報、通信設備

主要な幹線ルートは、ケーブルラックにて構築し、拡張性のある計画とします。
（システム配線などの工事は除く）

⑩誘導支援設備

トイレなどの呼出し装置やエレベーターの音声案内装置などを設置します。

⑪防災設備

火災報知設備など、消防法及び建築基準法に基づき設置します。

⑫防犯設備

入退室管理設備や監視カメラ設備などの配管を設置します。
（システム配線などの工事は除く）

⑬昇降機設備

エレベーター（車椅子対応）を庁舎東側に2台、西側に1台を設置します。

（４）空調換気設備計画

人と環境にやさしく、快適な空調換気設備を計画します。

①熱源設備

電気と中圧ガス（都市ガス）を併用するハイブリット方式を導入します。

②空調設備

災害対策関連室は、他と別系統とし、災害時も運転可能となる計画をします。

③換気設備

建築基準法及び建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づき、室別に適切なシステムを採用します。

④排煙設備

自然排煙と機械排煙を併用します。

⑤中央監視設備

熱源設備や空調設備などの監視、運転制御を一元的に管理できる設備を計画します。

⑥自動制御設備

空調設備機器や衛生設備機器が状況に応じて適切な状態となるよう、自動的に制御する計画をします。

（５）給排水衛生設備計画

省資源に配慮した、給排水衛生設備を計画します。

①給水設備

飲用水（市水道）、雑用水（井水・雨水）の２系統給水とします。

②給湯設備

個別に湯を出す局所式とし、給湯室に電気式温水器（飲用・洗い物用）を設置します。

③衛生器具設備

大便器は、節水型で雑用水対応の腰掛便器を採用し、洗浄便座とします。小便器は、自動洗浄式で雑用水対応の器具とし、節水と清掃性に配慮します。

④井水、雨水利用設備

備蓄水をろ過処理し、雑用水として利用します。

（さく井工事は除く）

⑤排水設備

高所から低所へ向って排水を流す重力式排水を原則とし、汚水と雑排水の２系統排水とします。

⑥消火設備

屋内消火栓設備やガス消火設備など、消防法に基づき設置します。

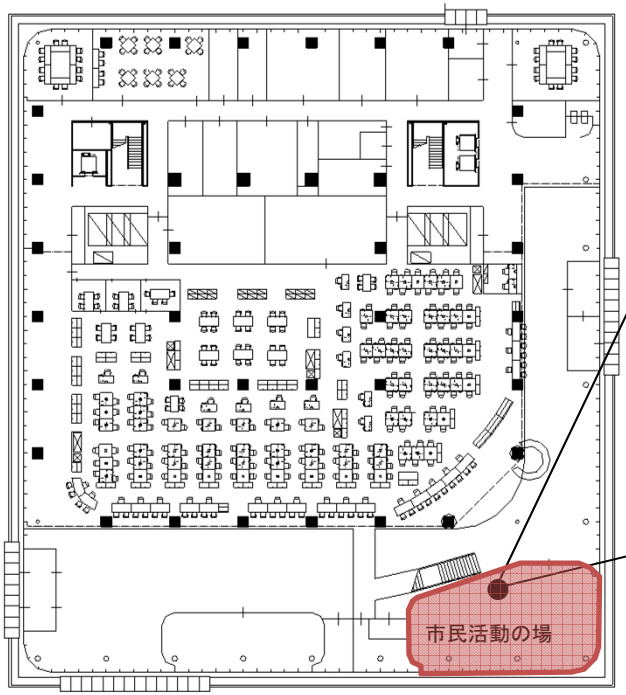
６．　新しいまちづくりの拠点

（１）市民の創造する意欲を盛り上げる場

①市民活動の場

各種発表会をはじめ、演奏会や期日前投票、税の申告相談など、幅広く利用できる場を計画します。

【1階】



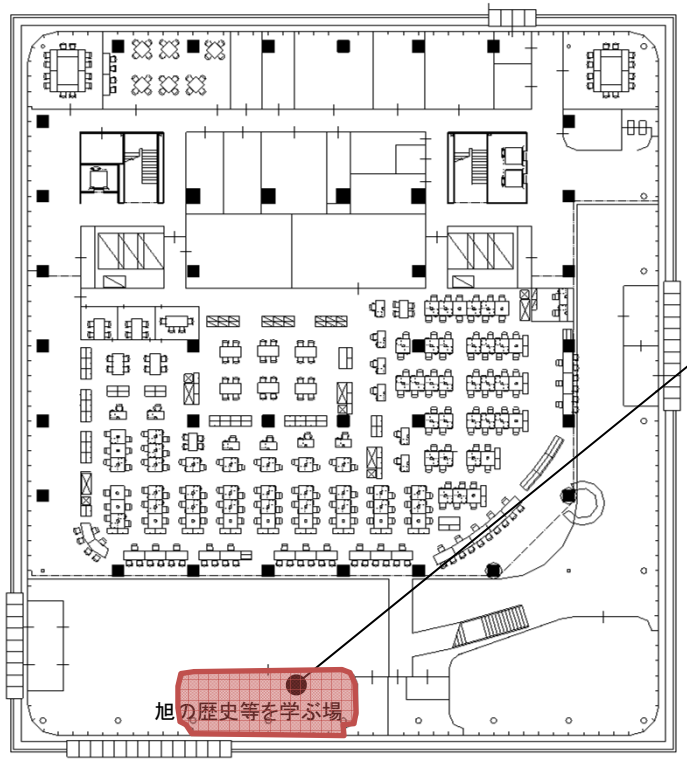
【発表会イメージ】

【期日前投票イメージ】

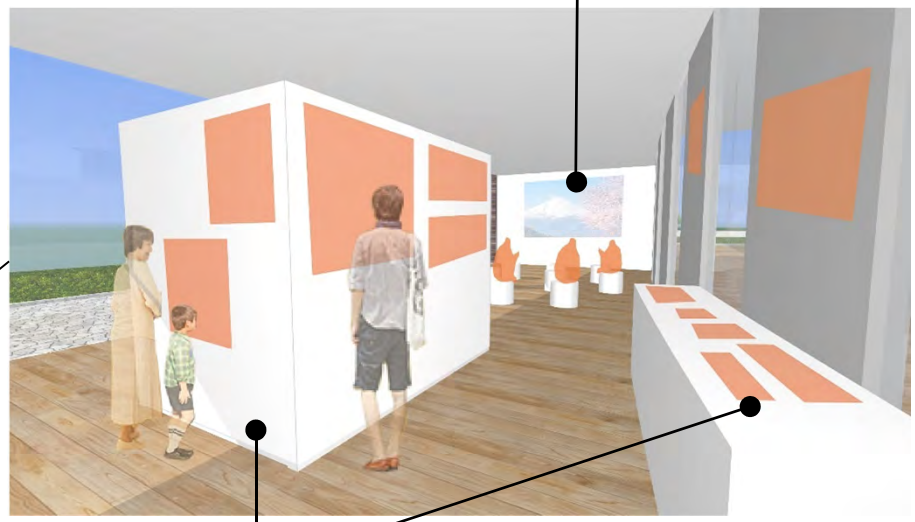
②旭の歴史等を学ぶ場

旭の歴史や偉人の展示会をはじめ、市政情報や市の観光情報などを放映するなど、来庁者が気軽に立ち寄れる場を計画します。

【1階】



【市の観光情報をスクリーンで放映イメージ】

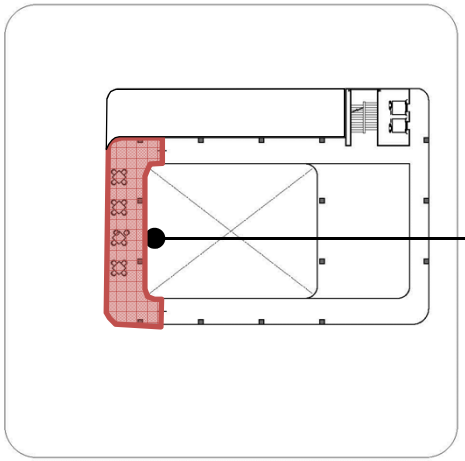


【企画展イメージ】

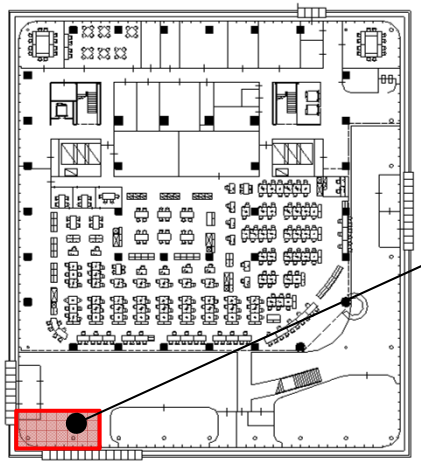
③市民憩いの場

軽食ができる休憩スペースを1階フロアと5階フロアに計画します。

【5階】



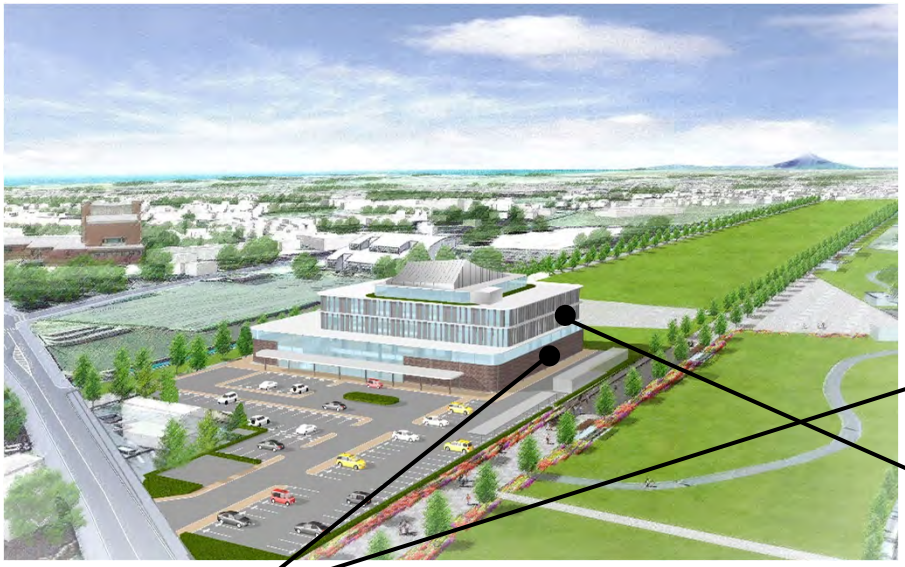
【1階】



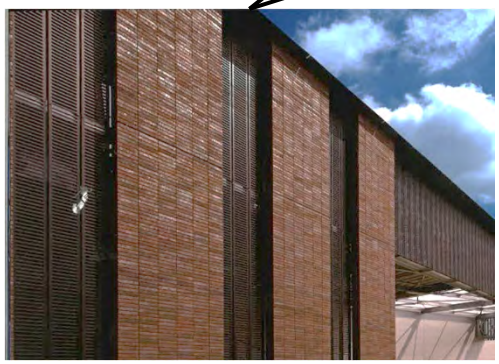
（2）外観パース

白・黒・自然色を基調とした、質素でシンプルなデザインで、周囲の景観に調和した計画とします。

【正面玄関から見た外観イメージ】

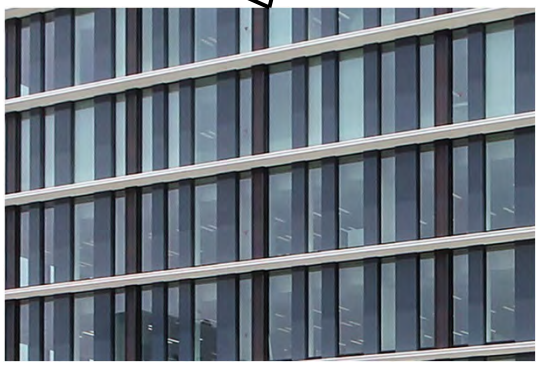


【旭文化の杜公園側から見た外観イメージ】



②低層部

ガラスを多く開放的なデザインに、土の質感を感じるタイルを組み合わせて、自然素材を生かした仕上げを計画します。



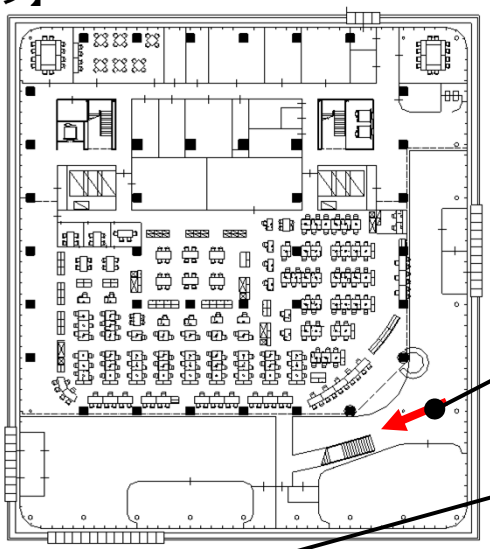
①上層部

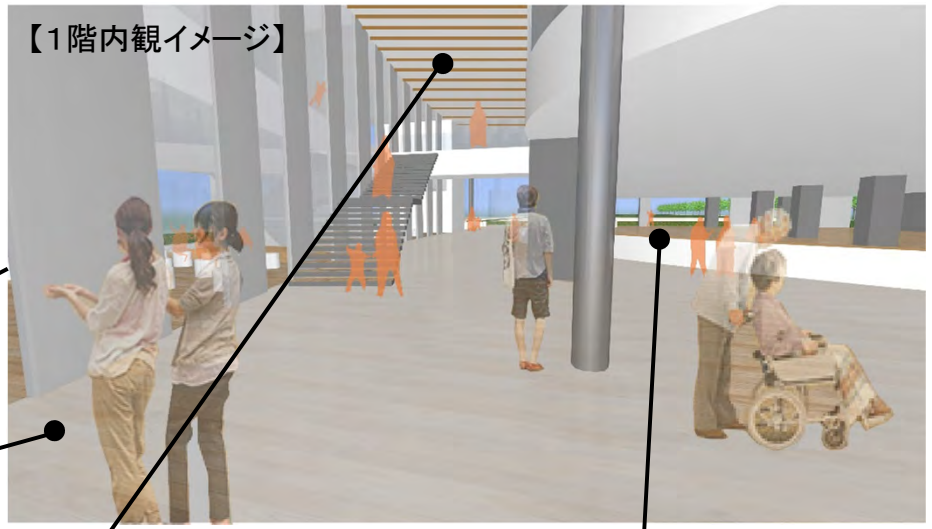
縦長の窓を採用して、メリハリのあるデザインを取り入れます。

（3）内観パース

内装の一部に木材を使用して、深みと安らぎのある空間を計画します。また、機能性が高く清潔さを保ち、清掃しやすい材料を採用します。

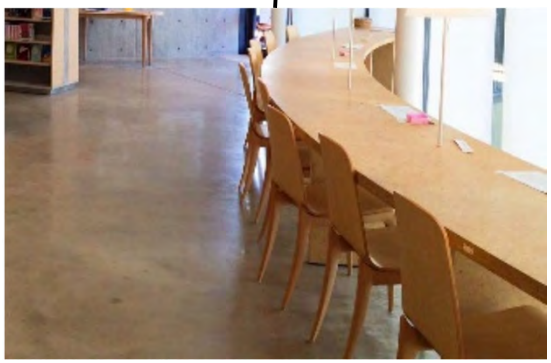
【内観イメージ】





③床

②天井



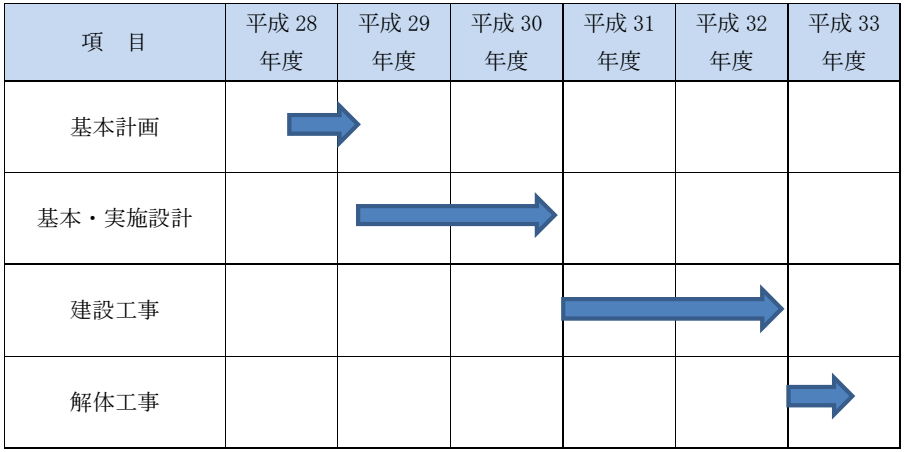
①家具

7.　工事計画

（1）概算事業費

建設市場の動向や建築構造などにより、変動する可能性があります。

項　目	内　容	事業費
本体工事費	41万円/㎡ 地下駐車場　約2億円	約 50億円
外構工事費	2万円/㎡	約　1億6,000万円
解体工事費 （現本庁舎、第二庁舎）	3万円/㎡ アスベスト撤去費3,600万円	約　1億7,400万円
その他工事費	上水道1,300万円、排水500万円	約　　1,800万円
計		約 53億5,200万円

（2）スケジュール

工場生産品やユニット化製品の積極採用により、騒音・振動の軽減を図ります。また、建設中の防災対策や公園利用者に配慮して新庁舎建設を進めます。